Molhos Maruiti:
para cada receita, um molho especial.
MARUITI
www.maruiti.com.br

DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
TAKAO MIYAGUI

ニッケイ新聞
NIKKEY SHIMBUN

Rua da Glória, 332 - CEP 01510-000 - São Paulo - SP – Tel. (11) 3340-6060 – www.nikkeyshimbun.com.br

国内 海外 引越の日通
通 11-3583-3882

ANO XX – Nº 4821 | SÃO PAULO, SÁBADO, 19 DE AGOSTO DE 2017 | R$ 4,00

バルセロナのテロ死者13人

実行犯逃走、百人超負傷
「イスラム国」犯行声明

【バルセロナ共同】スペイン北東部バルセロナで17日、歩道に車両が突っ込んだテロで、地元のカタルーニャ自治州政府は18日、歩行者ら少なくとも13人が死亡、100人以上が負傷したと明らかにした。警察は4人を拘束したが、運転していた実行犯は逃走。過激派組織「イスラム国」（IS）は系列ニュースサイトで犯行声明を出した。18日未明には自治州の別の町で車が群衆に突っ込む事件があり、報道によると1人が死亡し、6人が負傷。警察は両事件の関連を指摘、同一グループとみられ、大がかりなテロ計画の疑いが浮上した。

18日、スペイン・バルセロナで開かれた追悼集会に参加したスペイン国王フェリペ6世（最前列右から4人目）やラホイ首相（同5人目）ら（共同）

イラク政府が今年7月、ISが拠点とした北部モスルの解放を表明して以降、欧州での大型テロは初めて。声明は「ISの戦士が攻撃を実行した」と述べ、シリアなどでIS掃討作戦を行う米軍主導の有志連合への報復と主張した。

18日未明の事件はバルセロナの南西約120キロのビーチリゾート地カンブリスで発生、警察は容疑者5人を射殺した。

ロイター通信はバルセロナのテロに少なくとも8人のグループが関与した可能性があり、ライターなどに使われるブタンガスを爆発させる計画だったとの当局者の見方を伝えた。拘束された4人のうち2人はモロッコと、北アフリカのスペインの飛び地メリリャ出身。

スペインのラホイ首相は18日のテレビ演説で「イスラム過激派のテロ攻撃を受けた」と断定し「必ずテロとの戦いに勝利する」と語った。

ロイターなどによると、テロ前日にはバルセロナの南西約150キロにあるアルカナーの家屋で爆発があり、1人が死亡した。警察はテロとの関連を捜査している。

フランスメディアはテロの死傷者の出身地は34の国・地域と報じた。バルセロナの日本総領事館は18日午後の時点で、日本人が巻き込まれたとの情報はないとしている。

テロは17日午後5時（日本時間18日午前0時）ごろ、バルセロナ中心部で白いワゴン車が歩道を約700メートルにわたってジグザグに走行し、観光客らを次々と殺傷した。

Jアラートの画面を確認する職員＝18日午前、松山市役所

北ミサイル備え情報訓練
中四国、Jアラートで

【共同】政府は18日、北朝鮮による米領グアム周辺への弾道ミサイル発射に備え、上空を通過する恐れがある中国、四国9県の全202市町村で全国瞬時警報システム（Jアラート）の情報伝達訓練を実施した。機器が正常に作動するかどうか確認するのが目的だが、一部地域で防災情報メールの文字表示が崩れたり、防災行政無線から音声が流れなかったりするトラブルがあった。

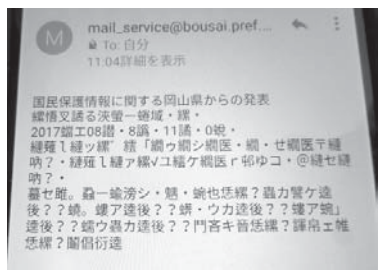
北朝鮮は、中距離弾道ミサイル4発をグアム沖に撃ち込む計画を公表。島根、広島、高知3県の上空を通過すると予告しており、訓練は周辺の鳥取、岡山、山口、徳島、香川、愛媛を含む9県が対象。

訓練では政府が「これはJアラートのテストです。これでテストを終了します」との電文を配信。屋外や各世帯に設置された防災行政無線、携帯電話メール、ケーブルテレビなどから電文と同じ情報が流れた。

Jアラートから情報が配信されると、職員が操作しなくても防災行政無線などの自動起動機が作動する。鳥取県米子市では、屋外に設置された防災行政無線のスピーカーから音声が流れなかった。島根、岡山両県では、県が配信する防災情報メールの表示に不具合があった。岡山県によると、タイトル以外は文面が読み取れず、担当者は「受信した人が混乱している恐れがあり、説明のメールを送るなど対応を考える」と話した。

広島県でも、尾道、府中両市で市の情報メールを配信できず、三次市ではケーブルテレビを通じた音声配信に不具合があった。

政府は、北朝鮮がミサイルを発射し、日本の上空を通過したり、領土・領海に落下したりする恐れがあれば、Jアラートで通過地域や落下場所に関する情報を伝達。必要に応じて近くの頑丈な建物や地下への避難を呼び掛ける方針だ。



Jアラート訓練で配信された文字の表示が崩れた岡山県の防災情報メール＝18日午後、岡山市

介護施設で高齢者3人死亡
「意図的要因排除できず」

【共同】岐阜県高山市の介護老人保健施設「それいゆ」に入所していた高齢の男女3人が7月末から相次いで死亡していたことが18日、分かった。別の入所者2人もけがをしているといい、県は17、18両日に介護保険法などに基づき立ち入り調査を実施した。施設側は「意図的な要因は排除できない」と説明。県警は事件、事故の両面で施設関係者らから事情を聴くなどして調べている。

施設などによると、7月31日、男性（80）がデイルームで食事中に食べ物を喉に詰まらせて倒れ、運ばれた病院で死亡。

8月6日には部屋で倒れていた女性（93）が救急搬送され、その後、脳挫傷で死亡した。さらに12日には女性（87）が顔面蒼白になるなど体調が急変して病院に搬送されたが、13日に死亡。病院から通報を受けた県警が司法解剖した結果、死因は折れたあばら骨が肺に刺さるなどする外傷性血気胸だった。

また15、16両日には91歳と93歳の女性2人もあばら骨の骨折や、肺挫傷などのけがで入院した。

同施設を運営する医療法人同仁会の折茂謙一理事長（79）は18日午前、同施設で取材に応じ「短期間で3人が亡くなることはこれまでなく、意図的な要因は排除できない。特定の人が関わっているとしたら非常な問題だが、断定も否定もできない。県や県警に協力して究明したい」と話した。

ホームページなどによると、「それいゆ」は同仁会が1997年に設立。定員は100人で、入所者にはリハビリテーションや学習療法などのサービスを提供している。

バルセロナ テロ
信奉者テロ、根絶困難
崩壊間際、思想拡散

【パリ、イスタンブール共同】夏休みの旅行者が押し寄せる有数の観光名所スペイン・バルセロナを襲ったテロ。犯行声明を出した過激派組織「イスラム国」（IS）は中東の都市部の支配地域をほぼ失って崩壊の危機にひんしているが、世界中に拡散したISの過激思想に感化された信奉者によるテロは当面根絶できない現実を突き付けた。欧州各国に帰還したIS戦闘員らが「反転攻勢」に出る脅威も高まっている。

▽前夜の爆発

「もっと壊滅的な被害が出て、さらに多くが犠牲になる恐れがあった」

治安当局者は事件後、こう漏らした。テロ前日の16日夜。バルセロナ南西約150キロの田舎町アルカナーの民家では1人が死亡、7人が負傷する爆発が起きていた。

当初は事故とみられたが、ガスボンベ約30本が見つかり警察は爆弾製造中に誤爆させたとして、テロ準備とみて捜査している。大型トラックを借りようとした形跡もあり、当局者は計画通りに進めば一段と大規模なテロに発展していた可能性を指摘した。

▽断末魔の叫び

「有志国連合を狙えという呼び掛けに応じて、ISの兵士が実行した」。ISは犯行直後に短い声明を系列ニュースサイトで発表した。

二大拠点のうちイラク北部モスルを7月に失い、「首都」と称するシリア北部ラッカも包囲されたISに「大規模テロを計画し、実行する余力はない」（シリア反体制派幹部）。組織的関与がないテロであっても犯行声明を出して力を誇示するのが唯一の戦略で、崩壊間際の断末魔の叫びにも聞こえる。

しかし、「西洋とイスラムの最終決戦は近い」とのISの考えに毒された個人や中小グループのテロは、中東でのIS退潮後も続く。車や小銃、手製爆弾など比較的手に入れやすい武器を用いて不特定多数の市民を狙う手口は共通する。

フランス、ドイツ、英国…。有名観光地や国の誇りの源泉となる施設を標的にする攻撃が相次ぐ中、大型テロが10年以上途絶えていたスペインは「安全な国」と目され、日本の渡航者は増えていた。だが今回、近隣諸国と同じように過激分子が潜む実態があらわになった。

▽帰還兵の脅威

中東から続々と帰還する欧州出身のIS戦闘員の存在も、テロの脅威を高めている。

17日付のフランス紙フィガロによると、欧州連合（EU）欧州委員会の報告書は「欧州で今後、計1200～3千人が帰還し、テロの危険性が高まる」と指摘。インターネット上の宣伝や、刑務所内での囚人同士の口コミなどあらゆる手段で中東の戦闘地域に誘導されたEU域内の国民は過去5年間で5千人以上とされる。

報告書は中東で戦闘中に死亡したり、戦意を喪失したりした者は「半数」にとどまると推定、帰還者によるテロ急増への警戒を呼び掛けている。

「預言者ムハンマドの後継者が率いる理想の国家」というISの虚構は既に破綻した。だが現実社会に絶望した一部のイスラム教徒にとって「神の敵を殺せば天国に行ける」とのメッセージは、いまだに力を持つ。

各国の警察力を総動員しても戦闘員の帰還、テロ準備、決行という流れを完全阻止できる保証はない。

ラヴァ・ジャット　ヴァカレッサ元ＰＴ下議逮捕

下院リーダー時代に収賄
ＰＢと米国企業の仲介で
コスタ被告関連で２作戦遂行

１８日、ラヴァ・ジャット作戦（ＬＪ）で二つの捜査が敢行され、ルーラ・ジウマ両政権で下院の政府リーダーも務めたカンジド・ヴァカレッサ容疑者（当時は労働者党・ＰＴ）が逮捕された。同容疑者は、ペトロブラスと企業の契約を仲介した見返りの手数料として５０万ドルを受け取った疑いを持たれている。１８日付伯字紙サイトが報じている。

逮捕されたヴァカレッサ容疑者
（Laycer Tomaz/ Câmara dos Deputados）

この日、連邦警察はＬＪ第４３、４４弾として「アバテ作戦」と「セン・フロンテイラ作戦」の二つを同時敢行した。両作戦はＬＪ第１～１６弾の捜査内容に基づくもので、ヴァカレッサ氏は前者に絡んでいる。

アバテ作戦によると、ヴァカレッサ容疑者は、下院の政府リーダー（１０年１月～１２年３月）という立場を利用し、２０１０年から１３年に米国企業「サージャント・マリン」社がペトロブラスとの間で交わした１２件の契約（総額１億８千万ドル）を仲介。同容疑者は、これらの契約を巡るＰＴへの賄賂、計５０万ドルの恩恵を最も受けた人物とされている。

この贈収賄工作は、ＬＪのそもそもの仕掛け人のひとりで、最初の報奨付供述者でもあるペトロブラス供給部元部長のパウロ・ロベルト・コスタ被告の供述などによって明らかになった。

また、ヴァカレッサ容疑者は、トルエンを扱う企業であるキンブラ社に便宜を払い、ペトロブラス社の企業秘密というべき情報を伝えて、金を受け取っていた疑いも持たれている。

この日、ヴァカレッサ容疑者は聖市東部モオッカの自宅で逮捕され、パラナ州の連邦警察に連行された。自宅からは１２万２千ドルの現金も見つかっている。

なお、ヴァカレッサ氏は昨年ＰＴを離党し、ブラジル労働者党（ＰＴｄｏＢ）に移籍していた。

一方、セン・フロンテイラ作戦は、ペトロブラス供給部が２００９年から１３年にかけて、ギリシャの企業二つと結んだ石油輸送船の契約を巡って行われた贈収賄工作に関するものだ。

ここではコスタ被告に加えて、その２企業の共同経営者や理事を務めていた、伯国駐在のギリシャの名誉大使コンスタンチノス・コトロナキス氏も絡んでいると見られている。

この契約では、計５億ドルにも上る契約金の最低２％が、賄賂として政治家やペトロブラス社の職員、金融業者らに手渡されたと見られている。コスタ被告はその報奨付供述で、コトロナキス名誉大使から５３万ドルの賄賂を受け取っていたことを明かしている。

この二つの捜査では、計６人が一時逮捕された他、１１人の強制連行と事情聴取と、２９カ所の家宅捜索が行われた。一時逮捕者の中には、ペトロブラスの元役員も３人含まれている。

東西南北

昨日付本欄で報じた、ジョアン・ドリア聖市市長が北東伯へ出向いて、聖市内での道路、公園、信号などの整備に対応しないとのアゴラ紙の皮肉に対し、ドリア市長が返答した。同市長は「私は１日に１６時間でも１８時間でも働く。疑うなら一緒に行動してみてもいいよ」と語った。さらに国内外へ出向くことに関しては、「民営化事業に携わる企業の人が出向けない場合は私が行く」との見解を示した。ドリア市長は１７日に北東伯から聖市に戻り、同じく働き者の実業家イメージの強いＳＢＴ局社主の名物司会者シウヴィオ・サントスと会合を行った。この２人の会話なら実業界的にも気になる話か。

◎

ここ数日は雨模様で気温も低下中の聖州。まだ８月ということで霧雨状態が目立ち、降水量が一気に増えないのがもどかしいところもあるが、それでも、聖州主要水系では現時点で、月間平均降水量の５０％から７０、８０％は降っていることになる。７月はカラカラ天気で各水系の水位が落ちたため、雨は可能なだけ降ってほしいが、幸いなことに雨模様の天気は週末まで続くとのこと。現在、カンタレイラは６０％、アウト・チエテは５５％をやや切る水位だが上がってほしい。

◎

先週の日曜日に、ＰＳＧの選手としてフランス・リーグでデビューしたネイマールが、明日２０日はいよいよ本拠地パルク・デ・プランスで、パリ市民の前での初の試合、対トゥールーズ戦に登場となる。この試合は午後４時よりスポーツ専門のＥＳＰＮ局で放送の予定だが、今年はテレビでのＰＳＧ戦中継が増えそうだ。

サントス市　水位上昇で多大な損害予測
２１００年までに15億レとも

伯国の聖州サントス、米国ブロワード郡、英国セルジーなどの地域への水位上昇の程度、またその影響を調べる国際プロジェクト、メトロポール計画がまとめた調査によると、サントス市の水位は、気候変動によって、２０５０年までに少なくとも１８ｃｍ、２１００年までには４５ｃｍ上昇する可能性がある。

同調査はまた、何らかの対策や工事を行わなければ、サントス市は２１００年までに、家屋だけで少なくとも１５億レアル規模の損害を被ると試算している。

全国自然災害監視センター（ＣＥＭＡＤＥＮ）の調査総合コーディネーター、ジョゼ・マレンゴ氏は、サントスには気候変動の影響を逃れる術はなく、変化に適応するための工事が必要だとしている。同氏は「２１００年までに１５億レの被害との試算もかなり楽観的で、倍になる可能性もある。適応工事は絶対に不可欠だ。遠い将来の事を言っているんじゃない。すぐに取り掛からねば」と危機感を募らせる。

調査では、水位上昇の程度によってどこまで水没するかの地図を作ったが、マレンゴ氏は「平均水位が上昇すれば、高潮や高波の時の水位は、簡単に、今より２ｍ高くなり得る」としている。

調査はまた、最近の数十年間のサントスでの高波の発生頻度がかなり上がったことを示した。マレンゴ氏は、サントス市内でも波に対して弱い二つの地域、ポンタ・ダ・プライアと、北西部では既に影響が出ているとした。さらに同氏は、サントス市が波の損害を避けるには、最低でも２億４千万レ規模の対策工事が必要だと語っている。

バルセロナの惨劇を直視
伯人からも衝撃のレポート

１７日昼（現地時間の午後５時）頃、スペインのバルセロナで起きた、歩道に車（バン）が突っ込むテロで、現場に居た伯人観光客や現地居住者らが生々しいレポートを寄せている。

１７、１８日付伯字紙やサイトによれば、バルセロナでの死者は１４人に増え、現地時間の１８日未明にバルセロナから１２０キロのカンブリスで起きた、検問を突破した車が、警官や歩行者計７人に重軽傷を負わせた事件でも、女性１人が亡くなった。バルセロナでの負傷者は、命の危険ありが１７人、重傷者３０人とされ、死者が増す可能性がある。

警察は、カンブリスで警官に射殺された容疑者５人の中に、バルセロナでのテロ主犯でモロッコ人のモウサ・オウカビル容疑者もいたと見、身元確認を急いでいる。

バルセロナでの事件では、伯人からも、事故直後のビデオや生の声がメディアに届いた。

携帯電話でビデオを撮影したのはクリチバ在住の大学教授パトリシア・アマラル氏で、バンが歩行者をはねて走っている最中に乗っていたバスが現場に差しかかり、犯人の顔も見た。現場にいた警官も車を止められず、死者や怪我人が続出し、人々の絶叫や断末魔の叫びも聞いたという。

市内在住のマリアナ・ボカラ氏は、車にはねられて宙を舞う人の姿を見た途端、逃げ惑う人の渦に巻き込まれた。こんなに走った事はないという同氏は、道沿いの店に逃げ込み、事なきを得た。

休暇で同市に着いたばかりのリオ市の医師ベルナルド・カンポス氏は、人々の叫び声を聞いて振り返った途端、迫ってくるバンに気づき、近くの店に逃げ込んだ。同医師は負傷者を病院に運ぶのを手伝い、頭を支えながら、点滴を打つよう指示したりした。犠牲者に延命措置を施そうとしたが、助けられなかったという看護士もいた。

休暇中で同市内にいたグローボ局のレポーターは、ニュースの中で負傷した伯人に会ったと語ったが、伯国メディアの報道では伯人の被害者には触れていない。

ドリア聖市市政　監督部長を突如解任？
汚職疑惑の捜査の最中に

聖市が１７日、法務局監督部のラウラ・メンデス・アマンド・デ・バロス部長の解任を発表した。これは同氏がシダーデ・リンパ法に関する不正行為の調査をはじめた直後の出来事だ。１８日付伯字紙が報じている。

ラウラ氏は、同市が景観美化計画「シダーデ・リンパ」導入後、違法が疑われる街中での大型広告展開の裏で贈収賄工作が行なわれているとの疑惑についての捜査を進めようとしていた矢先に解任された。

ラウラ部長はハダジ前市長（労働者党・ＰＴ）時代の２０１３年に監督局が創設された時から、監督局に在籍していた。監督局は現在のジョアン・ドリア市長（民主社会党・ＰＳＤＢ）が１７年１月に市長に就任すると同時に廃止され、法務局の傘下になった。ラウラ氏は同市長によって同部部長に任命された。

同氏解任後の部長にはギリェルメ・ロドリゲス・モンテイロ・メンデス氏が指名された。メンデス氏は、これまで１２年間、聖州選挙地裁の内部監査を担当していた。

監督部関係者は、ドリア市長がシダーデ・リンパを巡る汚職疑惑が大きくなるのを恐れて、自分たちにとって都合のよい人物に交代させたのではとの憶測を抱いている。

聖市側は、シダーデ・リンパの疑惑捜査は引き続き行うとしている。

外国為替市況

中銀サイトより
８月１８日午後４時現在

米ドル相場
売　3.1453 R$
買　3.1436 R$

円相場
売　0.0288 R$
買　0.0288 R$

新Ｓｅｓｃ　聖市セントロにオープン
１３階建てのモダンな建築
屋上に眺望楽しめるプールも

伯国各地に存在し、セスキ（Ｓｅｓｃ）の愛称で親しまれている調査・教育・文化施設が、聖市セントロの５月２４日街に、１９日よりオープンすると、１８日付伯字紙各紙が報じた。

Ｓｅｓｃは正式名称を「社会商業サービス」といい、企業の従業員や家族向けのサービスを担当する非営利目的の民間組織で、教育、保健、レジャー、文化サービスは一般公開されている。

他のＳｅｓｃでもおなじみの劇場、カフェ、図書館や講演用ホール、レストランの他、展示会用スペース、歯科や、屋上にはオープンエアーのプールも備えた、現代的な１３階建てのビルは、著名伯人建築家パウロ・メンデス氏の設計で、ガラスをふんだんに使っており、建築物としての魅力も備えている。

「聖市の街がこの建物の中に入って行き、この建物も街の中に溶け込んでいく」と聖市のＳｅｓｃを統括するダニーロ・デ・ミランダ氏は語る。

聖市立劇場や、共和国広場にほど近いこの施設のオープンを記念して、１９、２０両日には多くの無料文化イベントが開催される。

特筆すべきは、女優フェルナンダ・モンテネグロによる、「ポル・エリ・メズモ」（故ネルソン・ロドリゲス著・ジャブチ賞作家）の朗読だ。この朗読は１９日午後７時からと、２０日午後４時からの２回、２１６人収容の劇場で行われる。（入場無料）

新しいＳｅｓｃの地上階は、建物の角に隣接するドン・ジョゼ・デ・バロス街と５月２４日街の双方から行き来できる広場になっており、車イス利用者が階を移動するためのスロープも設置されている。

新Ｓｅｓｃの目玉となる、屋上からの眺めが楽しめるプールは４００人が同時に入れる。

寒く、雨も戻り始めたこの季節は活躍の機会が限られるが、今後夏に向けて人々を楽しませてくれそうだ。

Ｓｅｓｃ５月２４日街の外観

Ｓｅｓｃ開設のほぼ１カ月後の９月２０日は、聖市パウリスタ大通りにもう一つの文化施設、インスティトゥート・モレイラ・サレスがオープンする。

４月末にもパウリスタ大通りにはジャパン・ハウスが開館し、現在、聖市は文化施設のオープンラッシュといった様相だ。

Ｓｅｓｃ５月２４日街の所在地は、５月２４日街１０９番で、最寄りの地下鉄駅はレプブリカだ。電話は１１・３３５０・６３００で、開館は月曜～土曜が午前９時から午後９時まで、日曜・祝日は午前９時から午後６時までとなっている。

★ グローバル団体パック ★
ミナス・ジェライスの泉の町!!
CAXAMBÚ PARQUE DAS ÁGUAS
発:8月25日(金) 着:8月27日(日)
R$820,00 → 5%OFF!! R$779,00
含まれるもの:
➤観光バス
➤宿泊・2泊
➤全食込み(朝2回、昼3回、夕2回)
清流溢れる静かな街並み!!
BONITO HOTEL MARRUA
発:9月07日(木) 着:9月10日(日)
R$2800,00+空港税
ラストチャンス!!
含まれるもの:
➤往復航空チケット
➤宿泊・3泊
➤現地ツアー
※上記の料金はツインルームご利用の場合の金額となっております。
日本への航空チケットも取り扱っております。
お問い合わせください。
ビザ・戸籍・RAIL PASS の手配も致します
SERVICE GLOBAL TURISMO
日本語対応 スペシャルダイヤル (11) 3572-8962
INFORMAÇÕES E RESERVAS ☎(11)3572-8990
www.serviceglobal.com.br
Praça da Liberdade, 190 - CJ13 - Liberdade - São Paulo - SP | atendimento@serviceglobal.com.br

岡田・大城不動産 OKADA & OSHIRO IMÓVEIS
CRECI: 18.910-J
売買・賃貸・管理 Venda, Locação e Administração
TEL: (11) 3272-9885
okada-oshiroimoveis@nethall.com.br
VENDE-SE 売買物件
ACLIMAÇÃO APARTAMENTO 3 DORMITÓRIOs, 3 VAGAs, ÁREA ÚTIL 94 M² R$ 1.390.000,00
LIBERDADE APARTAMENTO 3 DORMITÓRIOs, 1 VAGA, ÁREA ÚTIL 87 M² R$ 550.000,00
ARAÇOIABA DA SERRA TERRNO C/CASA 4 DORMITÓRIOs, GARAGEM, PISCINA, SALÃO DE JOGOS ETC. R$ 700.000,00
ARUJÁ TERRENO C/CASA 3 DORMITÓRIOs, 1 VAGA, + EDÍCULA R$ 270.000,00
CAMBUCI APARTAMENTO 2 DORMs., 1 VAGA, SEMI NOVO 7 ANOS, ÁREA ÚTIL 53 M² R$ 355.000,00
ALUGA-SE 賃貸物件
BELA VISTA APARTAMENTO 3 DORMs., 2 VAGAs, LAZER COMPLETO, ÁREA ÚTIL 135 M² R$ 3.200,00
JD. PAULISTA APARTAMENTO 1 DORM., 1 VAGA, LAZER COMPLETO, MOBILIADO, ALUGUEL+CONDOM. R$ 3.200,00
LIBERDADE APARTAMENTO 2 DORMITÓRIOs, ÁREA ÚTIL 75 M² R$ 1.500,00
LIBERDADE APARTAMENTO 3 DORMs., 2 VAGAs, LAZER COMPLETO, MOBILIADO, ÁREA ÚTIL 79 M² R$ 2.700,00
V. MARIANA KITCHENET C/ VAGA, C/ SAUNA LAZER COMPLETO, ÁREA ÚTIL 45 M² R$ 2.200,00
E-mail: okadaoshiroimoveis@yahoo.com.br
Rua Galvao Bueno, 405 Liberdade Sao Paulo - SP
不動産事務所 自社所有 Sede Propria

日本移民の為に生涯を捧げた苦労の歴史 上塚周平の生涯
História do UETSUKA SHUHEI
ポ語版特別価格 R$ 25,00

ニッケイ新聞社 15周年記念
お問合せ・お申込は(11)3340-6060

"RYO MIZUNO" - Precursor da Imigração Japonesa -
ポ語版特別価格 R$ 25,00
ポ語版に日本語を併記
移民事業の先鞭を付けブラジルをこよなく愛した水野龍の伝記

2017年6月25日版
地球史探訪

ブラジル日系移民一世紀の苦闘

日系移民がブラジルで尊敬される地位を獲得するまでには、日本人の「根っこ」に支えられた苦闘の物語があった。

1．「ブラジルでは日系人は人口の1％しかいないのに、大学生は10％も占める」

筆者がアメリカに留学していた時に、ブラジルから来た留学生から「ブラジルでは日系人は人口の1％しかいないのに、大学生は10％も占める」と聞いて、嬉しく思った事がある。

たとえばサンパウロ大学は、ブラジルのみならずラテンアメリカ世界での最難関大学であり、多くのブラジル大統領を出しているが、そこでの日系人学生は14％を占めている。

筆者が嬉しく思ったのは、日本人が優秀だ、という事ではない。ブラジルに移住した日本人も、親は子のために尽くし、子もその恩に応えて頑張る、という日本人らしさを発揮しているのだろうと想像したからだ。

私自身も一度、ブラジルに出張して仕事をした事があるが、多くの日系人社員が企業の幹部を務め、その誠実さと有能さは、日本からの駐在員に勝るとも劣らないと実感した。ブラジル国内でも日系人はいまや社会的に尊敬されている。

親が子を思い、子が親の恩に応えるという、いかにも日本人らしい成功物語が地球の裏側で展開されたと私は受け止めていたのだが、それがいかに浅薄な理解であるかを、深沢正雪氏の『「勝ち組」異聞―ブラジル日系移民の戦後70年』［1］を読んで知った。

深沢氏は長らくサンパウロ市の邦字紙「ニッケイ新聞」の編集長を勤め、この本でも現地で集めた多くの史実を紹介している。それらを通じて、ブラジルの日系移民が今日の地位を得たのは、一世紀もの間、幾多の苦難を乗り越えてきた苦闘の結果である事がよく分かった。

そしてその苦闘ぶりにこそ、日本人らしさが現れていることも。

2．出稼ぎ

日本からブラジルへの移民は明治41（1908）年に始まり、戦前戦後を通じて25万人にのぼるが、その半分以上にあたる13万人が1926年から1935年までの10年間に集中している。

これは大正12（1923）年の関東大震災、昭和5（1930）年から翌年にかけての昭和大恐慌という国内の経済的困窮に迫られたこと、国外からは大正13（1924）年に米国で排日移民法が成立して道をふさがれ、ブラジルが新たな移民の受入れ先になったことによる。

しかし、1934年にはブラジル政府が日本移民の入国制限を始め、またそのころには満洲が新たな移住先となっていたことで、ブラジルへの移民は激減した。ブラジルへの移民は自由な選択というよりも、国内の経済的逼迫と国際政治の風向きによって、やむなく新天地を求めた、という側面が強かったようだ。

したがって戦前の移民20万人のうち、85％は何年かブラジルで働いて金を貯めたら、帰国しようとする出稼ぎ意識でやってきたのである。

3．日系移民の苦難

しかし移民がたどり着いたブラジルは、豊かで平和な新天地とはほど遠かった。

ブラジルは土地も肥沃で日本の日雇い労働者の2倍も稼げるという話に惹かれてやってきたのだが、大規模コーヒー農園で働いても、低賃金から食費を引かれるとほとんど残らない。やむなく自力で低湿地を切り開いて米を作り始めても食べるのに精一杯、雨期には蚊が大量発生してマラリアの病魔に襲われたりもした。

社会的にも「かつてのブラジル人エリートは常に人種差別者だった。ブラジルが発見された当時、下等民族とみなされたインディオが大量虐殺され、黒人は動物、商品として非人間的な扱いを受け、その次は移民、特にアジア系移民が標的にされた」と評される有様だった。［1，p255］

政治的にも不安定で、1924年には6千の革命軍が20日にわたってサンパウロ市内を占拠し、それを3万の政府軍が包囲して激戦を展開する、というような物騒な国だった。

言葉も解さず、政治力も持たない日本人移民は農村に散在していたが、革命軍の敗残兵は格好の餌食としてそうした植民地を襲って、略奪を行った。移民たちは結束して銃撃戦を繰り広げて自衛したが、無残に撃ち殺される人々も少なくなかった。

そんな苦難の中でも、日本語学校が集団地ごとに作られ、戦前だけで500校近くあったという。ブラジルで生まれた子供たちも、やがて日本に帰った時、普通の日本人としてやっていけるように、という親心からだろう。

日系移民たちは互いに助け合って、共同体として生き延びるしかなかった。そんな共同体を支えたのが、勤勉、誠実、正直という日本人の「根っこ」だった。そして苦難の中で生き抜くことで、日本人の根っこは移民たちの心の中で、より太く、深く成長していったのではないか。

そうした勤勉さで成功した移民の中からは、大農場や工場、貿易会社を営む人々も現れるようになった。

4．日系移民への弾圧

1930年に軍事クーデターを成功させたヴァルガスが大統領となった。ヴァルガス独裁政権はブラジルでのナショナリズムの高揚を狙って、初等、中等教育でのポルトガル語以外の外国語の学習を禁じた。1938年にはブラジル全土の日本語学校が閉鎖され、1941年には日本語新聞禁止令によって全邦字紙が停刊となった。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心がもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

（ニッケイ新聞編集部）

1941年12月、大東亜戦争が勃発すると、日系人が築いてきた大規模農場、商社、工場などの資産が差し押さえられた。日系社会の指導者層が検挙され、拷問を受けた。

1943年7月に、サンパウロの外港・サントス港沖でアメリカとブラジルの汽船合計5隻がドイツの潜水艦によって沈められると、日独伊の移民に対して24時間以内のサントス海岸部からの立ち退きが命ぜられた。日系移民も女子供老人に至るまで手回り品だけをもって、移民収容所まで歩かされた。

その当時の人々の心境を、移民画家・半田知雄氏は次のように描いている。

多くのものが警察に拘引され、留置場にたたきこまれ、ときには拷問されたという噂があり、不安がつのればつのるほど、この状態を脱出するための未来図は、東亜共栄圏内に建設されつつあるはずの『楽土』であった。

民族文化を否定され、そのうえ日常生活のうえで、一歩家庭をでれば、戦々恐々として歩かねばならないような息苦しさに、ブラジルに永住する心を失った移民たちは、日本軍部が約束した共栄圏のみが、唯一の生き甲斐のあるところと思われた。［1，p64］

5．勝ち組と負け組

1945年8月14日（時差により日本時間とは一日ずれる）、祖国敗戦の報がもたらされた。いつかは帰国すると願っていた移民たちにとって、敗戦は帰る場所が無くなってしまう事を意味した。

その心理的抵抗に加えて、「天皇の神聖な詔勅が、ポルトガル語で新聞にでたというのが、すでにおかしい」とか、「20万同胞の在住するブラジルに、正式な使節が派遣されないという理由はない」と多くの人々は考え、実は日本が勝ったという噂が広がった。

一方、移民社会のリーダーたちは、戦時中の検挙や資産差し押さえに懲りて、ブラジル政府を恐れ、敗戦を受け入れて「負け組」となった。彼らは勝ち組がやがてブラジル政府批判を始めて、自分たちはその巻き添えを食うという心配から、勝ち組を抑えにかかった。

戦前には大日本帝国の国威発揚を説いていた指導者たちが、手のひらを返すように敗戦を説き始めたことに、勝ち組の人々は裏切られたと感じた。負け組からは「負けたんだから、もう日の丸はいらない」などという発言まで飛び出したという。

6．「日本国家と皇室の尊厳のために立ち上がったんです」

負け組の筆頭と目された脇山甚作・退役陸軍大佐は勝ち組の若者4人に暗殺された。実行犯の一人、日系人が築いてきた大規模農場、商社、工場などの資産が差し押さえられた。日系社会の指導者層が検挙され、拷問を受けた。

1943年7月に、サンパウロの外港・サントス港沖でアメリカとブラジルの汽船合計5隻がドイツの潜水艦によって沈められると、日独伊の移民に対して24時間以内のサントス海岸部からの立ち退きが命ぜられた。日系移民も女子供老人に至るまで手回り品だけをもって、移民収容所まで歩かされた。

その当時の人々の心境を、移民画家・半田知雄氏は次のように描いている。

多くのものが警察に拘引され、留置場にたたきこまれ、ときには拷問されたという噂があり、不安がつのればつのるほど、この状態を脱出するための未来図は、東亜共栄圏内に建設されつつあるはずの『楽土』であった。

民族文化を否定され、そのうえ日常生活のうえで、一歩家庭をでれば、戦々恐々として歩かねばならないような息苦しさに、ブラジルに永住する心を失った移民たちは、日本軍部が約束した共栄圏のみが、唯一の生き甲斐のあるところと思われた。［1，p64］

7．「日本を愛する心を子どもに植え付けるために」

戦後、4、5年も経つと「戦争は終わり、日本は負けた。でも日本は残っている。引き揚げ者であふれ、食糧難の日本には帰れる場所はない。それに、子供はブラジルで大きくなってしまった。ブラジルに骨を埋めざるをえないのか」という諦めが広がっていった。

しかし、その諦めをバネにして「ここで子供にしっかりと勉強させて良い大学にいかせ、社会的に立派な立場にさせよう。そうすることで戦争中に自分たちをバカにしてきたブラジル人を見返さなくては」という志につながった。サンパウロ大学を「ブラジルの東大」と呼んで、親は身を粉にして働き、子供を送り込んだ。

勉学ばかりでなく、「日本を愛する心を子どもに植え付けるために日本語教育に力を入れよう」と考え、日本語教育や日本文化継承に全身全霊を捧げた人々も現れた。

拙著『世界が称賛する日本人の知らない日本』でも、江田島の旧海軍兵学校を訪れた17歳のナタリア・恵美・浅村さんが、英霊の心を偲んで書いた「げんしゅくな気持ち」という一文を紹介した［p201］。

ナタリアさんは、サンパウロ市の松柏学園の生徒で、この学園は2年に一度、2～30人の生徒を日本に送り、生徒たちは約40日をかけて沖縄から北海道までを回っている。

地球を半周する飛行機代と40日もの宿泊費は送り出す親にとって相当な負担であるが、「自分のルーツに誇りを持ってほしい」「美しい日本を見てきてほしい」という日系人父兄の切なる願いが40年にもわたる使節団の派遣を支えてきたのである。

このように祖国は敗れ、帰国も絶望的になったという境遇の中でも前向きな精進を続ける所に、日本人の根っこからのエネルギーが発揮されている。

8．「我々は日本語や日本文化の灯を絶やさなかったから生き残った」

深沢氏は勝ち組系の二世長老から聞いた次のような発言を紹介している。

戦後、認識派（負け組）の子孫はどんどんコロニア（日系人社会）から離れ、同化して消えていったが、我々は日本語や日本文化の灯を絶やさなかったから生き残った。そして、むしろそれが評価される時代になった。［1，p77］

日本人としての「根っこ」を失えば、圧倒的多数のブラジル人に同化吸収されてしまう。逆に日本語や日本文化の根っこを大切に育ててきた人々は、ブラジル社会に独自の貢献ができ、それが評価される。

ブラジル法学界の権威である原田清氏は編著書『ブラジルの日系人』の中で「ニッケイは日本人の魂をもってブラジル人として振る舞う」人々で、「本国ではもう見られないような（伝統的な）日本文化をわかちがたい絆として引き継いでいる」と書いている。

深沢氏が「どんな伝統的な日本文化が次の世代に継承されるのか」と原田氏に問うと、「勤勉、真面目、責任感、義理、恩、礼などが残ると思う」と答えた［1，p76］。

これらの徳目こそ、日本人の根っこそのものだろう。本国・日本では占領軍とその後の左翼思想による歴史の断絶によって、我々の根っこがほとんど断ち切られてしまったが、ブラジルの日系人は意図的な努力で根っこを太く深く伸ばし、そこから湧き出るエネルギーによってブラジル社会で称賛される地位を築いたのである。

ブラジルの日系人の苦闘の物語は二つの事を我々に示してくれている。

第一に、日本人の根っこは、ブラジルという異境の大地においても、しっかりと太い根を伸ばし、立派な幹を育て、美しい花を咲かせたことだ。この事実は、日本人の根っこが世界に通用する普遍性を持っていることを示している。いまや世界各地で暮らし、仕事をしている在外邦人にとって貴重な示唆である。

第二に、ブラジルの日系人が、日本人の根っこからのエネルギーによって苦難を乗り越え、その過程でまた根っこを太く深く伸ばした事である。これは防衛、経済、少子高齢化など多くの苦難に直面している日本列島に住む日本人に希望を指し示している。

現代の日本人全体にこのような貴重な教訓を示してくれた在ブラジル同胞の一世紀の苦闘に深甚の敬意と感謝を捧げたい。

（文責　伊勢雅臣）

僕等はなにも勝った負けたのためにやったんじゃない。あくまで日本国家と皇室の尊厳のために立ち上がったんです。脇山大佐には申し訳ないが、彼個人になんら恨みがあったわけではない。［1，p176］

高徳一はこう語っている。

日高はすぐに自首して、牢獄島で2年7ケ月を過ごしたが、その後、官選弁護士からは「目撃者はいない状況では犯罪は成立しない」から釈放だ、と言われた。日高は「それは違う。人の家庭をグチャグチャにしたんだから、こんなことで釈放では大義名分が通らない」と言い張り、約30年の量刑を言い渡された。

結局、10年で釈放されたのだが、「日本人が普通の生活をしていたらそれだけで模範囚ですから、どんどん刑期が短縮されちゃうんですよ」。テロリストですら純真な日本の心根を持っていた。

こうした事件を機に、ブラジル官憲は勝ち組と見なした3万人以上、すなわち在留邦人の7人に一人が取り調べを受けるという捜査を行った。その中では、「御真影（天皇陛下の写真）を踏んだら、留置所から出してやる」と言われた移民もおり、それを拒否しただけで監獄島に送られる、という弾圧も行われた。

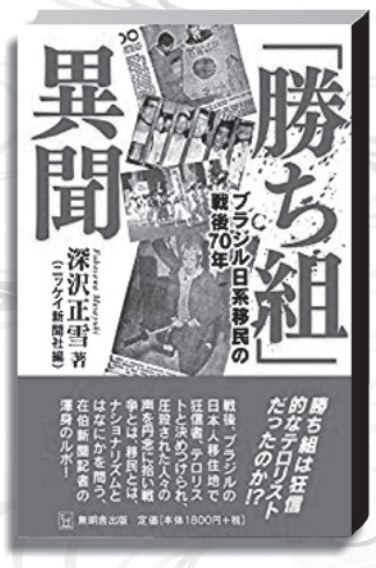
「我々は日本語や日本文化の灯を絶やさなかったから生き残った。そして、むしろそれが評価される時代になった。［1，p77］

深沢氏は勝ち組系の二世長老から聞いた次のような発言を紹介している。

【参考文献】

1．深沢正雪『「勝ち組」異聞―ブラジル日系移民の戦後70年』、無明舎出版、H29（※、太陽堂、竹内書店、高野書店、ニッケイ新聞編集部で好評販売中）

ニッケイ新聞連載集めた『勝ち組異聞』出版



冷静に歴史を見直し、
よりバランスの取れた移民史を残すため―
勝ち組も負け組もコロニアという一枚のコインの裏表

本紙勝ち負け抗争の連載を集め、書下ろしの解説を加えた。

1　勝ち負け抗争の流れ
2　大宅壮一「明治が見たければブラジルへ！」の意味
3　日本移民と遠隔地ナショナリズム
4　身内から見た臣連理事長・吉川順治
5　二人の父を銃弾で失った森和弘
6　襲撃者の一人、日高徳一が語るあの日
7　正史から抹殺されたジャーナリスト、岸本昂一
8　2000年に開かれた日系人の“パンドラの箱”
9　子孫にとっての勝ち負け抗争
付録　勝ち負け抗争年表

『勝ち組異聞』
無明舎出版
深沢正雪著
R$100

「一般庶民が外国に骨を埋める」という経験は何なのか――
文化人類学、社会学、異文化適応、社会心理学、ブラジル近代史、移民問題に関心がある人にも、ぜひ手に取って欲しい」（深）

お問い合わせ・販売　詳しくはニッケイ新聞社編集部まで -☎(11-3340-6060)
日系書店でも販売中！ 地方発送も出来ます！ ■太陽堂（11-3208-6588）■フォノマギ竹内書店（11-3104-3399）■高野書店（11-3209-3313）

国際派日本人養成講座
発行人＝伊勢雅臣（文責）
Mail: ise.masaomi@gmail.com
Twitter: https://twitter.com/#!/ise_masaomi
無料購読申込・取消:http://blog.jog-net.jp/

新たな出会い

グァタパラ　林　良雄

グァタパラ移住地５５周年祭記念式典の様子

毎年、冬の寒さに馴染むころ、移住地の祭りを開催している。今年も多くの来訪者を迎え、無事終了した。そして今回も新たな出会いを経験させていただいた。

拙稿のブラジル日本移民史に触れる縁で、初めて訪問を受けた赤木政敏氏とその御兄弟４人の方々に２日間接したが、祭りの準備と初日来訪者の接待で充分に対応出来なかった。

一行は最初に配耕された、奥モジアナのイガラパーヴァからミゲロポリスを廻ると言われていた。グァタパラを訪れた折、最初にブラジル相撲が開催されたグァタパラ耕地本部を訪れたいと申し出されたが、なにも無い廃墟地であり、それも砂糖キビ収穫の真っ最中、埃の積る農道を真っ白い高級車で乗り入れるのは酷であるので、その遠方を指で示した。

昔の場所から僅かに移動した笠戸丸移民の下り立ったグァタパラ駅にも案内した。西の地平線に真っ赤に燃える大きな太陽の沈む方向の遠方を指で示し、２回目から奉納相撲が開催続けられた東京植民地方面ですと。そうこうする内に夜の帳につつまれた。

祭り初日は、県連扱いの参加者内に、８８歳と言われる老齢婦人から、私の父は１９３０年に兵庫県出身の藤井一家の構成家族で、このグァタパラ耕地に２ヶ月ほど就労した。その後、藤井一家と別れ、単身でカフェランジアの平野植民地へ移転した藤江清次の娘で、現姓・阿部小夜と名乗られた。

この藤江清次のことを調べることが出来るかと尋ねられたので、１９３３年頃まで、簡単な足跡なら調べられると答えてみた。

数日後、やはり参加者の一人であった岩手県人会長の千田曠暁氏から、岩手県人の及川儀一といわれる人がグァタパラ移住地造成工事に携わった記録があることと、日本からの派遣技師調査員等で岩手県出身者が携わっている様子とあった。

これに答えるため、一度読んだ白石健次著書の『グワタパラ移住事業』を再度読み返してみると、私の出身県である茨城県耕地課から久保田達哉(昭和25年盛岡農専農業土木卒)氏が１９６１～６２年の８ヶ月間、造成工事に携わっており、岩手県の農業土木卒業出と わかった。

読み返す機会を与えていただいた千田氏への答礼に、戦前１９３３年頃までの岩手県出身者を、持っている資料で調べて送信した。

その翌日、先の藤江清次氏を調べてみた。１９３３年頃に藤江清次郎、妻・梅野、渡伯年として１９２９年とあり、１９３４年頃の家族は３人で、平野植民地でコロノとして就労していた。この家族中の一名が子女・小夜さんと思え、この渡伯年だと年齢も８８歳と符合する。

また６月下旬に、日本の三井ケミカル一行を案内して当地を訪れた蓮池と名乗る人から、「私の父・ハクゾウは１９１４年にこのグァタパラ耕地で生まれた」と言われた。しかし祖父母についてはほとんど知らず、厳島丸程度であった。

蓮池九一、妻・たづ夫妻は広島県出身で、この第３回移民船『厳島丸』については詳細の記述がなく、以前に既述した樽本輝美さんの祖父・樽本兼市氏から伝えられている話では、船中で疫病が蔓延し、サントス着港が第４回移民船神奈川丸より５日ほど後になった。

しかし移民船中の疫病を調べると、１９１８年に日本移民１８００人を乗せた『若狭丸』の船内に流行性脳膜炎が発生、サントス港に着いた時、死者５３名を出した。その後１９２８年『ハワイ丸』は航海中にコレラが発生して１７人が死亡している。だが厳島丸での疫病はどこにも記されていない。

こうして少しずつだが、戦前のグァタパラ耕地就労者氏名を把握することに生き甲斐を感じている今日この頃である。

春闌けし故郷の山川

サンパウロ　加藤　俊二

早世した妻が存命なら今幾歳だ、など他愛無いことを巡らしているうちに、後家蓋を持して３０余年が経ち、米寿が目前に迫りました。伯国に５７年、年金収入でつましく暮しています。

移り来て幾星霜を経、妻が不治の病に侵され、事由あって故郷に連れ帰り夭逝しました。私の先祖の墓地に埋葬し、石碑を建てています。

この度、５月下旬から６月上旬にかけ３週間、日本に行きました。寄る年波には勝てず、娘と孫息子の両杖に縋り、主客転倒の旅でした。

娘らが格安の国営エチオピア航空の搭乗手続きから、東京での宿泊に、マンションの空き室が間貸しされているのをインターネットで検索、予約しました。時勢に後れた私には、この利便性に驚くばかりでした。

彼らはＪＲパスを取得して北海道周遊の旅に立ち、私は東京に居残って多用を済ませ、墳墓の地に帰省しました。

東京から新幹線で岡山に下り、伯耆と備中を結ぶローカル線に乗換え、山陰は深山静寂の生家へ着き、３泊しました。

妻の死後、石碑建立を思い立ち、私自ら、裏面に戒名を授かりました。墨書の性格をもいます。総工費３５万円。

兄は４年前に９０歳で他界、甥や姪が資産を継いでいます。近隣に嫁いだ姉は９１歳、妹は８４歳、ともに認知症状はなく、やっと身辺雑事を処していました。内輪だけ集まり、張り込んだ料理の出前をとって手厚く持て成してくれました。

小学校の同級生は５０名、その３分の２に当たる３０余名が亡くなっています。桐一葉の寂寥感に打たれ、辛うじて生命を保っていても、明日は我が身かと、観念せざるを得ませんでした。

私らの部落は２９戸ありました。現在６戸が空き家になっています。諸々の事情で跡継ぎ不在がためです。更に小学校（当時在校生約３百名）は廃校となり、３か町村が合併して運営する小学校に統合され、生徒は町営のスクールバスで送迎されていました。

この現実に目を凝らすと、俗世は有為転変、邯鄲の盧生の夢の様です。ところが季節は新緑の候蘭け萬緑へと移るなか、中国山脈の懐は濃淡織りなすコントラストが人目をも欺く美しさ。針葉樹林の梢を渡る冷涼な風、清冽な小川のせせらぎ、飛来した白鷺が人気も怖じず、田圃の畔に佇んでいました。

地球を周回する人工衛星が地上を隈なく盗撮するテクノロジー万能の時代でも、移ろいゆく季節は人智の遠く及ばざるところ。残生の望みは豊かな自然に抱かれ、折々の美景を満喫するにあり。然れど俗塵を逃れること能わず。詮方なし哉！

老人の戯言

サンパウロ　木村　衛

若いうちは仕事や生活に追われて過ごして来たのだが、年齢（とし）をとって世の中をみる余裕が出てくると、広大な宇宙の空間にある小さな地球の中に蠢く何十億という人間の中での卑小な自分の営みに、やり切れなさを覚える。

この世界は権力者による愚策、欲望によって引き起こされる戦争や災害、貧困による犠牲者が溢れている。それを救おうとする良心的な人たちもいるが、微々たる存在で、多くの人が苦しんでいる。

そういう中での自分の存在意義に疑問を持つようになったが、それに気付くのが遅すぎた。自分の身も満足に処することが出来なくなった老齢の現在。何も出来ず、いたずらに死を待つというのも寂しいものだが、記憶力、体力、思考力の衰えを痛切に感じるようになった。せめて人付き合いの嫌いな自分の性格を抑えて、一期一会、人との会話を楽しむように心がけたいと思っている。

毎日の生活の中で、素晴らしい自然や芸術作品、心に響くような話や本を読んだ時、美味しい物を食べた時は、至福の気持ちを抱き昂揚する。ただしそれは長くは続かない。日常の惰性の営みの中に埋没する。

周囲の者に迷惑をかけず、充実した日々を過ごし、ある日ぽっくりと逝ったらいいなと思うが、難しいだろうなとも思うこの頃です。

投稿者におねがい

◎名前には必ずふりがなをつけて下さい。
◎紙面の都合で、投稿を一部割愛することがあります。了承ください。
◎原稿用紙を使って下さい。E・メールでの投稿を歓迎します。それ以外は用紙に大きめの升目の線を引き縦書きで書き込んで下さい。
◎読みやすい書体で1千字以内にまとめてください。多すぎる場合は掲載できないことがあります。
◎写真の掲載を始めたので、文章と一緒に送って下さい。ただし、投稿された原稿も写真も返却できません。あらかじめコピーを取るようにして下さい。
◎初めて投稿される方を特に歓迎します。コロニアの日常生活、珍しい話など奮ってご参加ください。
◎二重投稿はご遠慮ください。
◎電話番号と住所をご記入ください。
◎送り先はニッケイ新聞「ぷらっさ」係。
Eメール bungue i.nk@gmail.com

日本文学の枠組みを問う
沖縄文学が放つ光とは

【共同】沖縄文学とは何か。日本文学の中でどんな位置にあり、どのような光を放っているのか。日本ペンクラブ（吉岡忍会長）が東京で開いたシンポジウム「戦争と文学・沖縄」の議論から、沖縄文学の個性と可能性が浮かび上がった。日本文学の枠組みを問うエネルギーの一端が見えてきた。

▽**例外**

「戦争文学には優れた作品が多い。戦争時には、自分の苦悩が社会の苦悩とつながっているからだと思う」。最初に講演した日本ペン前会長で作家の浅田次郎が力説する。「しかし今の日本は長い間戦争をしていないばかりか、大変な経済成長を遂げたため、苦悩が減った。その結果、文学が衰弱している。例外は沖縄です」

「終わらざる夏」や「帰郷」など、優れた戦争小説を書いてきた浅田は、沖縄出身の芥川賞作家の名前を次々に挙げた上で「特に影響を受けたのは大城立裕さん」と明かした。大城の「亀甲墓」について「沖縄戦のとき、ある家族が亀甲墓に避難していろいろな体験をする話だが、すばらしい小説。人間が活写されていて、テクニックも優れている」と絶賛。

「沖縄には今も社会的苦悩がある。かつて戦争を体験し、基地問題を今日まで引きずっている。だからこそ、沖縄からはしっかりしたテーマを持った作品が幾つも生まれてきた」

▽**伝統**

浅田は自身の戦争小説について「できる限り過去の戦争小説を読み、歴史や経緯を学び、いろいろな人の声に耳を傾けて書くしかない」と話す。

「戦争小説の中に、自然主義以来の私小説の伝統が良い形で保存されている。これからも頑張って書き続けていきたい」

次に沖縄から駆け付けた詩人で作家の大城貞俊が講演した。まず、沖縄文学の特徴として①沖縄戦の作品化②米軍基地に関連した題材やテーマ③状況に対する沖縄の作家の高い倫理性④沖縄のアイデンティティーの模索⑤表現言語としての「ウチナーグチ（沖縄の言葉）」をどう取り入れていくかという模索―の五つを挙げ、具体的な作品や作家について紹介していった。

大城によれば、戦後の沖縄文学は、沖縄戦の作品化から始まった。大城が最初に名前を挙げたのは、詩人の牧港篤三だ。

「彼は沖縄の新聞社に勤めていて、戦時中は従軍記者として記事を書いた。戦後は、自分は県民を死に追いやった加害者ではなかったかと反省し、自己を厳しく見つめて作品を紡いだ。ここに沖縄文学のスタートがあり、倫理的であるという特徴も表れている」

▽**死者**

では沖縄文学とは何か。大城は「沖縄は死者と共生している社会。死者の目をいつも私の目として状況と向き合っている」とみる。後半のディスカッションで浅田は「沖縄県とそれ以外の土地の間には、戦争に対する認識の違いがある。沖縄戦では県民の４分の１が亡くなった。沖縄では死者が身近にあるというのは、当然の文学的な昇華の仕方だと思う」と話す。

大城は「沖縄では、言葉はどこまで届くのかと問い掛けられる」と述べ、沖縄文学にとって表現の本質と向き合うことは不可避であるということを強調した。「沖縄文学は、もう一つの日本文学として存在し得る。日本文学の多様性としての沖縄文学、日本を相対化し、日本文学の枠組みを揺り動かす沖縄文学というものを想定しています」（敬称略）

議論する浅田次郎さん（左から２人目）、大城貞俊さん（同３人目）ら＝東京都千代田区

歌丸、円朝作品を熱演
81歳の誕生会も

【共同】落語家の桂歌丸が、毎年恒例となった東京・国立演芸場の８月中席に出演し、怪談噺「牡丹灯籠」の「お露新三郎　出逢い」を熱演した。歌丸は酸素吸入器を着けながらも、切れ味のいい語り口で約４５分間にわたる高座をつとめあげた。

歌丸が毎夏、自身のライフワークである三遊亭円朝の作品に取り組む興行。肺炎などで入退院を繰り返し、６月に休養から復帰したばかり。今回は１０日間続く興行のうち、奇数日のみの出演となった。

トリとして登場した歌丸は、まくらで「息が吸えないっていうのは、すごい苦しい。金がないより苦しい」と冗談めかし、観客を笑わせた。

歌丸の誕生日（８月１４日）前日に当たる１３日の口演後は、この日出演した三遊亭円楽、桂文治、桂小南治や弟子らが舞台上で８１歳の誕生会を開催。観客も一緒にバースデーソングを歌い、にぎやかに祝った。

三遊亭円楽（手前左）らに１日早く、誕生日を祝ってもらう桂歌丸（同右）＝１３日、東京都千代田区の国立演芸場

歌丸は「番組（笑点）の司会は卒業しましたけれども、息の続く限り落語はやっていきたい。８月の円朝師匠のものは、これからも続けたい」と笑顔で語った。

20日(日)のNHK

00:00 ニュース
00:15 NHKのど自慢「東京都八王子市」
01:00 ニュース
01:05 「ひよっこ」一週間
01:25 Core Kyoto 選「五山の送り火～命つなぐ炎 精霊(しょうりょう)送り」
01:55 四国で発見!いのちの不思議～愛媛県立とべ動物園～
02:38 ミニ番組
02:40 ニッポンの里山
02:50 BSニュース
03:00 一本の道「チロルの里を歩く～オーストリアからドイツへ」
04:00 BS1スペシャル「なぜ悲劇は生まれたのか～写真家・船尾修 旧満州の旅」
04:45 民謡魂 ふるさとの唄「石川県輪島市」
05:30 みいつけた!さん
06:00 ニュース
06:05 フックブックローミニ
06:10 ノージーのひらめき工房
06:25 Eダンスアカデミー 選「リモコンでダンスゲームが楽しめる! シーズン5(9)」
06:55 5分で!「ひよっこ」
07:00 NHKニュース 7
07:30 ダーウィンが来た!生きもの新伝説「ノリノリ!謎のダンサー鳥」
08:00 大河ドラマ「おんな城主 直虎」(33)「嫌われ政次の一生」
08:45 ニュース・気象情報
09:00 NHKスペシャル「戦後ゼロ年 東京ブラックホール 1945-1946」
09:59 世界ふれあい街歩き「ゲーテが愛した街 ワイマール～ドイツ」
10:58 これでわかった!世界のいま
11:35 サンデースポーツ
12:25 NHKのど自慢「東京都八王子市」
13:10 NHK短歌
13:35 NHK俳句
14:00 趣味の園芸 やさいの時間 選「バケツで再現!ミニポタジェ」
14:25 趣味の園芸「いま、観葉植物・フィカスがおもしろい」
14:50 BSニュース
15:00 将棋フォーカス
15:30 囲碁フォーカス
15:55 美の小壺
16:00 みいつけた!さん
16:30 おとうさんといっしょ 選
17:00 大河ドラマ「おんな城主 直虎」(33)「嫌われ政次の一生」
17:45 とっておき!動物の仲間たち
17:56 ミニ番組
17:59 ワールドウェザー
18:00 NHKニュース おはよう日本
20:00 連続テレビ小説「ひよっこ」(121)
20:15 あさイチ
21:55 みんなの体操
22:00 ニュース・気象情報
22:05 ココズレ2「ココがズレてる健常者～障害者100人がモノ申す」
22:55 CYCLE AROUND JAPAN「長野北部の旅」
23:45 ミニ番組
23:48 視点・論点
23:58 ワールドウェザー

※本紙配達の都合で、当番組表をご利用できない地域もあると思います。あらかじめご了承ください。

21日(月)のNHK

00:00 ニュース
00:20 ひるブラ
00:45 連続テレビ小説「ひよっこ」(121)
01:00 ニュース
01:05 かごしまの四季「人と自然が織りなす風景」
01:30 ニュース「民進党代表選挙候補者共同記者会見」
02:05 ミニ番組
02:10 新日本風土記 選「しまなみ海道 島物語」
03:10 COOL JAPAN～発掘!かっこいいニッポン～「少女漫画～Shojo Manga」
03:55 Doki Doki ! ワールドTV
04:05 みんなのうた
04:10 デザインあ 5分版
04:15 ピタゴラスイッチミニ
04:20 実践!にっぽん百名山 選「八甲田山」
04:50 BSニュース
05:01 にほんごであそぼ
05:11 えいごであそぼ with Orton
05:21 いないいないばあっ!
05:36 おかあさんといっしょ
06:00 BSニュース
06:10 みいつけた!
06:25 すイエんサー「サケの切り身を口に骨を入れずに食べきりた～い!」
06:50 びじゅチューン!
06:55 名曲アルバム
07:00 NHKニュース 7
07:30 歴史秘話ヒストリアSP「新発見 そうだったのか!忍者の真実」
08:43 ミニ番組
08:45 まいにちスクスク
08:50 もういちど、日本
08:58 ワールドウェザー
09:00 ニュースウオッチ 9
10:00 ノーナレ「元ヤクザ うどん店はじめます」
10:25 プロフェッショナル 仕事の流儀 (アンコール)「校咲く、人で咲く～樹木医・和田博幸」
11:15 ニュースチェック11
11:55 国際報道2017 (一部 二ヶ国語)
12:45 ワールドウェザー
12:50 グレーテルのかまど「清少納言のかき氷」
13:15 サイエンスZERO「ライブ配信、ますますパワーアップ!ABUロボコン直前SP」
13:45 ニュースチェック11
14:25 時論公論
14:35 あの日 わたしは～証言記録 東日本大震災～
14:40 100分de名著「大岡昇平"野火"」第3回
15:05 5分でわかる「おんな城主直虎」
15:10 きょうの健康 (アンコール)「体操満載!肩こり・肩の痛み対策」肩こり 原因と解消法
15:25 きょうの料理「新 家庭料理の定番60」かき揚げ・そうめん・焼きなす
15:50 きょうの料理ビギナーズ
15:55 まる得マガジン
16:00 アフリカゾウの家族をつくる 28年間の記録
16:25 かごしまスペシャル Nature Islands
16:50 ミニ番組
16:55 ミニ番組
17:00 おかあさんといっしょ
17:24 みいつけた!
17:39 コレナンデ商会
17:49 ゴー!ゴー!キッチン戦隊
クックルン
17:59 ワールドウェザー
18:00 NHKニュース おはよう日本
20:00 連続テレビ小説「ひよっこ」(122)
20:15 あさイチ
21:55 ニュース・気象情報
22:00 第99回 全国高校野球選手権大会 準決勝 第1試合

※本紙配達の都合で、当番組表をご利用できない地域もあると思います。あらかじめご了承ください。

22日(火)のNHK

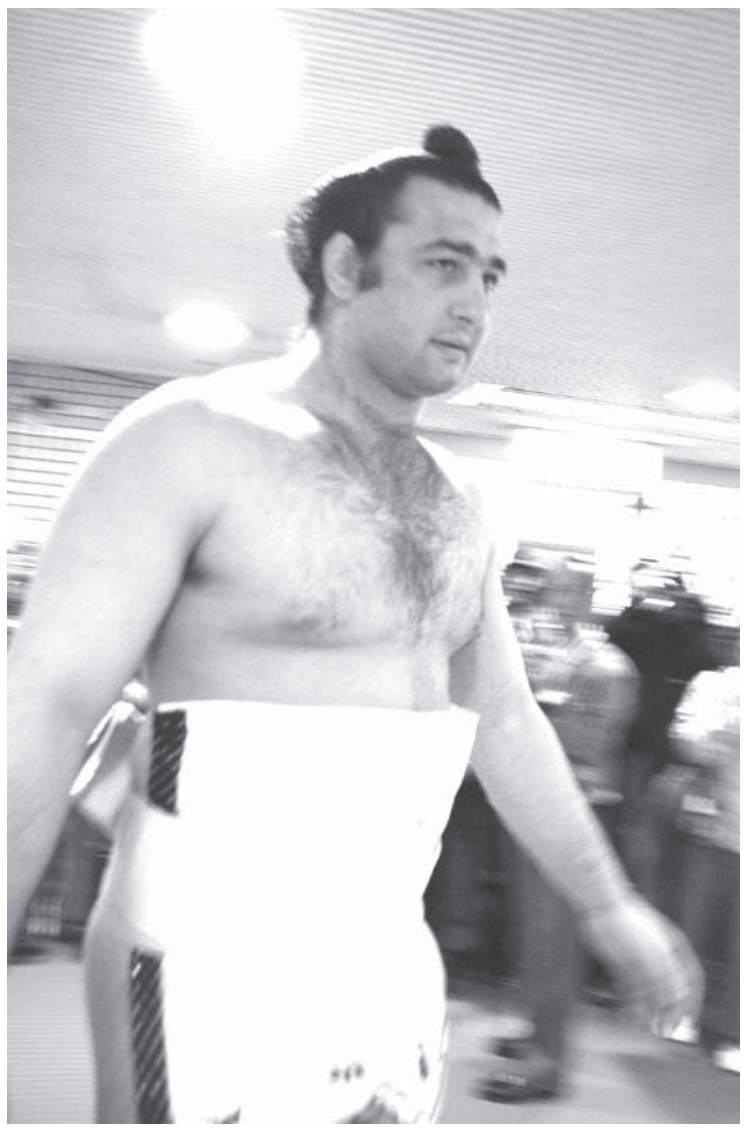
00:00 ニュース
00:20 ひるブラ
00:38 コウケンテツが行く アジア旅ごはん
00:45 連続テレビ小説「ひよっこ」(122)
01:00 ニュース
01:05 第99回 全国高校野球選手権大会 準決勝 第2試合(延長の場合あり)
03:00 BSニュース
03:10 おとなの基礎英語
03:20 ピタゴラスイッチミニ
03:25 TOKYOディープ! 選「東京のタイムカプセル 多摩市」
03:54 ワールドウェザー
03:55 すくすく子育て「効果テキメン!子育てアイデア大集合」
04:25 趣味どきっ!「茶の湯 武者小路千家 千宗守 残暑から初秋を楽しむ茶会」第3回
04:50 BSニュース
05:01 にほんごであそぼ
05:11 えいごであそぼ with Orton
05:21 いないいないばあっ!
05:36 おかあさんといっしょ
06:00 BSニュース
06:10 みいつけた!
06:25 天才てれびくんYOU
06:59 ワールドウェザー
07:00 NHKニュース 7
07:30 歌う!SHOW学校「北海道千歳市」
08:43 ミニ番組
08:45 まいにちスクスク
08:50 もういちど、日本
08:58 ワールドウェザー
09:00 ニュースウオッチ 9
10:00 ノーナレ「町工場×テクノ」
10:25 土曜時代ドラマ「悦ちゃん～昭和遺伝子パパ恋物語～」(4)「誕生!パパママソング」
11:03 NHKプレマップ
11:05 挑戦者たち「佐藤繁弘～カヌースラローム/スロベニア」
11:15 ニュースチェック11
11:55 国際報道2017 (一部 二ヶ国語)
12:45 ワールドウェザー
12:50 先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)「幕末 孤高の挑戦者 佐久間象山 空気を読むな!」
13:34 10min.ボックス テイクテック
13:45 ニュースチェック11
14:25 時論公論
14:35 ミニ番組
14:40 人生デザインU-29 (アンコール)「フードトラック経営」
15:05 びじゅチューン!
15:10 きょうの健康 (アンコール)「体操満載!肩こり・肩の痛み対策」五十肩 糖尿病の人はなりやすい
15:25 きょうの料理「新 家庭料理の定番60」蒸し鶏・タンドリーチキン・ガパオライス
15:50 きょうの料理ビギナーズ
15:55 まる得マガジン
16:00 J-MELO 選「アニソンスペシャル」
16:28 NHKプレマップ
16:30 ニッポンの里山
16:40 京、ぶらり。
16:55 ミニ番組
17:00 おかあさんといっしょ
17:24 みいつけた!
17:39 コレナンデ商会
17:49 ゴー!ゴー!キッチン戦隊
クックルン
17:59 ワールドウェザー
18:00 NHKニュース おはよう日本
20:00 連続テレビ小説「ひよっこ」(123)
20:15 あさイチ
21:55 みんなの体操
22:00 ニュース・気象情報
22:05 もふもふモフモフ 夏スペシャル!
22:50 猫のしっぽ カエルの手 選「家族のちから」
23:20 さし旅「"海の生きもの"マニアと巡る熱狂ツアー」
23:48 視点・論点
23:58 ワールドウェザー

※本紙配達の都合で、当番組表をご利用できない地域もあると思います。あらかじめご了承ください。

特別寄稿

カロヤン・ステッハノ・マハリヤノフ、がんばれ！

聖市在住　栗山舎人



琴欧洲 勝紀(Wikimedia Commons)

「カロヤン・ステッハノ・マハリヤノフ」――聞きなれない名前であるが、引退した元大関琴欧州の本名です。

新聞紙上だったか、世界中で一番どこの国に住んでみたいか？というアンケートがあって、ナンバーワンが日本だったのをおぼえている。

この種のアンケートは、何を基準にするかで一概にいえないが、とにかく外国人から気に入られるのは、その国の国民にとって名誉なことだとおもう。そのなかの一人が自分の相撲部屋を立ち上げた元大関琴欧州、愛称「カロヤン」の鳴戸勝紀です。

明治時代に松江の中学校で英語教師としてはたらいた小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）は日本女性と結ばれ怪談ものなどの小説家でしられ、愛した日本の地に眠っている。

新田次郎の未完の作品で、むすこの数学者、藤原正彦氏があとをひきうけて仕上げた「弧愁サウダーデの物語の主人公、ベンスセスラオも日本女性と結ばれ、日本は彼にとって愛する終生の地になっている。

まだ生存のドナルド・キーンにいたっては、第2次世界大戦に海軍日本語通訳官として活躍したはずだったが、日本文学にのめりこみ、たくさんの作家との交友、そしてその作品を海外に紹介するなど、並みの日本人よりも日本人らしい人、ということになっている。おまけに90歳ちかくになってニュヨークを引き払い日本に永住している。

引退したが琴欧州は好きな相撲取りだった。近着の「文芸春秋」でしったのだが、その彼が今回19歳で入門した佐渡部屋から独立して鳴戸部屋という自分の部屋をたちあげたのだ。日本人の女性と結婚して帰化したというのである。

「いままで貯めた自分のお金でなんとかやっています」と言っていたが今のところ弟子は五人で、まだ財政面での後援会はなく、部屋の掃除も洗濯も買出しも、ちゃんこ鍋つくりも五人の弟子たちと、弟子親方の区別なくいっしょにしている。

相撲界では風呂屋にいけば弟子が先輩親方の背中をあらうのは常識になっているのに、鳴戸部屋に限ってはそれがない。風呂屋はリラックスする場所と決めているのだ。5人の弟子を抱えた部屋の食費はばかにならない。そのために新聞のチラシなど見てみんなと買出しにでる。

いつの間にか店屋のおかみさんたちと冗談を交わし、買い物上手が地域の定評になっている。彼は長身にあまいマスクがそなわった人懐っこさで、誰からも好かれる得な性分だ。

自分の部屋がある地域の住民を招待してチャンコ鍋の親睦会を開くなど、そんな力士がいままでにいただろうか、心底この国を愛し、この国に生涯をささげる心情あっての思うのは、わたしの買いかぶりだろうか。どちらにしてもつい嬉しくなってしまう。

現役時代も、荒っぽい朝青龍の相撲を批判するなど「相撲はみているお客さんをたのしませねばならない」が彼の信条で四つに組む正攻法を得意としたが、その半面猫だまし、張り手、張り差しなどの奇襲に弱くあっさりと負けたりしている。

小兵が大兵と対戦するならまだしも、同じぐらいの体格の二人がまるで喧嘩でもするように張り手でやりあうさまは見ていても面白くない。そういう面でも彼の人気があったのではないだろうか。

相撲部屋にする物件探しに、オリンピック開催が迫って値上がりし、かなり苦労したようだ。「おかげさまで女将さんが何とか見つけてくれましたので」といっているが、女将さんのイメージは旅館、料亭でなくとも、フックラとした色白の中年女性が目に浮かぶのだが、映像で見る女将さんの安藤麻子さんは似ても似つかないスマートな若い美人で、チョンマゲを切った琴欧州、鳴戸勝紀の似合いの女性だ。

見つけた物件はもとお菓子工場があった貸し倉庫、階下に土を持ってきて土俵をつくり、二階がみんなの住まいになっている。

体重150キロ、2メートル越す長身で甘いマスクのイケメンはブルガリヤ生まれで、かの地ではレスリングジュニアのチャンピオンだった。

日本の相撲界に入ってからは異例のスピード出世で、大関在籍47場所は過去最多だった。しかし度重なる怪我になやみながらも、故郷の両親に仕送りを欠かさない孝行息子でもある。

いつかのテレビ番組で見たが、裕福とは関係のない家庭だった。おまけに父親が交通事故に遭って不自由な身なのだ。現役時代にこつこつと貯めた金で部屋の維持はたいへんだろう。はじめての場所番付けに二人の弟子が序の口に載っていたのでおおよろこび、なんでも外国人力士は各部屋に一人ということになっているらしい。

彼は怪我でなやんだ自分の過去を生かし、怪我をしない体づくりに挑戦。怪我で肩の骨がもりあがっているのを見せていたが、もし適切な治療法をしってそれを受けていれば、もっと相撲が取れたといっていたが、旧態依然の角界に新風を吹き込もうとしている。

そのために食生活から改善と牛乳とヨーグルトを欠かさない毎日の食事など、彼が編み出した独特な練習法は、シャット・アウトで一般には公開しないことにしている。

「20年後の結果になるかもしれないが、とにかく結果をださないと無意味になりみんなから忘れられてしまう」という。

テレビを見ていて感心することに、大男の彼ら外国人力士が現在の若い日本人以上にカタカナ語のない礼儀正しい日本語を話すことだ。びっくりを通り越してつい可愛くなってしまう。入門してしまえば通訳がいるわけではない、日本語の世界で挨拶に始まってすべてを実地に覚えねばならない。なんだか移民でブラジルに渡った私にはわかるような気がする。

彼は同じブルガリア出身の後輩力士碧山に日本語習得用に絵本を贈っているが、碧山はいまだに大切に保管しているという。

ブラジルに半世紀以上暮らしても、自分の祖国に惚れた人物がいる、というだけで嬉しくなってしまう。安藤カロヤン、鳴戸勝紀親方、がんばれ。

火坂雅志『真田三代・完全版』を読み解く

『真田三代』(火坂雅志著、NHK出版、2011年)

【本の要旨】

戦国時代、舟運は我が国における流通の大動脈であり、その幹線は太平洋側ではなく、早くから北国船が発達した日本海側にあった。

すなわち、日本海の舟運を押さえれば、京への道がおのずとひらけることになる。

武田信玄が川中島へ出兵を繰り返し、上杉謙信との激闘を演じた最大の理由は、そこにこそあった。

真田家を生んだ滋野一門は、古くより呪術に通じた一族であった。

じっさい、真田幸隆は歩き巫女、山伏を通じて諸大名の動きをいち早くつかみ、みずからの戦いに役立てている。

幸隆の孫、真田幸村が、「不思議な弓取り」と言われ、変幻自在の働きをした理由も、合戦にこうした山伏たちの力を駆使したからと考えれば納得がいく。

武田信玄は、合戦と策略に明け暮れた戦国武将の典型といっていい人物である。

だがその一方、若年のころから禅に深く傾倒し、風雅をこよなく愛して、情感あふれる幾多の漢詩を残すという文化人の側面を持っていた。

詩人の繊細さと、武将としての勇猛さ、さらに政治家としての怜悧な頭脳を併せ持つところが、信玄という人物の面白さかもしれない。

真田幸隆の仲間である、禰津の巫女頭の千代女は、蜘蛛の巣のごとく地下に張り巡らした人脈と情報網を握っていた。

武田信玄がかくも水軍を重視したのは、駿河湾一帯の制海権を握り、上方と北条氏の海上交通を遮断するためである。また、いざとなったときの兵站の補給基地として、太平洋岸の主要な港を押さえておく必要があった。

上野国の沼田城は、越後と上州を結ぶ軍事上の要地であると同時に、日本海側と太平洋側の物流の結節点でもある。

当時、最大の輸送能力を誇った交通機関は、「舟運」であった。一度に多くの荷が積載可能な船は、馬を使った陸上交通に比べて、はるかに輸送効率がいい。

上方と、加賀、能登、越中、越後など北陸の湊々のあいだには、古くより北国船の舟運によって海の道がひらけている。

このうち、越後の新潟湊で下ろされた荷は、川船に積み替えられ、信濃川、さらには魚野川をさかのぼって上流へ運ばれる。その舟運の終着点が、魚沼郡の六日町である。そこから荷は、沼田をかならず通り、越後と関東を往来する。

日本海側と太平洋側を結ぶ流通の道は、ほかにもある。

信濃川、松代あるいは上田、吾妻郡中之条、利根川の舟運に通じるルートである。

吾妻郡に進出した真田幸隆は、この信濃と上野を結ぶ流通路を押さえ、今日の真田氏発展の経済的な原動力とした。これに加え、沼田を押さえれば、真田氏は上信越国境の物流の道を完全に掌握することなる。

武田家は攻めに強いが、守りには慣れていない。外へ外へと、積極的に領国を拡大してきたのが武田の流儀である。ゆえに、守備ということには意外と無頓着であった。

「風向きによって、たやすく筋をたがえるのは、小物のすることだ。尻軽なやつよと敵からも味方からも見くびられ、人の信を失うことにもなろう」真田昌幸はそう思案した。

昌幸は底光りする目で、息子たちに諭した。

「たしかに信義の二文字は、上辺だけのきれいごとに過ぎぬ。人は信義ではなく、利欲によって動くというのがこの世の真実だ。しかし、目先の小さな利に踊らされ、右往左往していては、われらは心根の卑しい弱小勢力と侮られるだけだ。ときに小利を捨て、真田ここにありと気骨をしめさねばならぬときもある」

上杉家には、先代謙信以来の、「義」の家風がある。相手の弱みに付け込み、やみくもに領土拡大に走るなど、「もっての外なり」と考えるような、頑なまでの義の信奉者が上杉景勝という男であった。

理不尽な要求に屈していては、誇りまで捨てることになる。相手が徳川であろうが、上杉であろうが、北条であろうが同じことだ。

誇りを捨てたとき、それがわが一族が、この世から滅び去るときと心得よ。（真田昌幸）

北国街道は信濃と越後を結ぶ物流の道でもあった。越後側からは米や塩、信濃からは油、絹、大豆、蕎麦などを積んだ荷馬、荷車が、道をしきりに行き来している。

信濃から上野にいたる交易路を握る真田氏と、日本海舟運によって富み栄える上杉氏が手を結べば、商いはますます盛んになろう。

真田幸村の身のうちには、祖父幸隆、父昌幸から受け継いだ真田一族の血が脈々と流れている。大きな敵にも臆さず、屈しない、「反骨」の血である。

幸村の生まれ育った真田家には、「義」という思想はない。義とは、儒教でいうところの仁義礼智信、すなわち五常のひとつである。

私利私欲を捨て去り、人と人との信義に重きをおき、おおやけのために何ができるかということを行動原理の中心にすえる。それが、義の思想にほかならない。

外交、軍事での策略家としての貌とは対照的に、真田昌幸は若い頃から領内に仁政をしいている。昌幸にはひとつの信条があった。

「戦いにおいては策略を用い、非情の決断もする。だが、おのが領民と交わした約束は、信義をもってこれを守り、情けをかけて味方につけねばならぬ」

壮心の夢を抱く若き幸村に、越後で出会った上杉家の直江兼続はひとつの指針を与えた。それは、義の精神である。

信州上田にいる真田昌幸のもとへは、諸方に散っている四阿山の山伏やノウを通じて、上方の情報が刻々と寄せられてくる。

上杉謙信と武田信玄がこの血の領有をめぐって争ったことからもわかるとおり、川中島は日本海側と太平洋側の物流が交わる経済の要地であった。

越後長岡藩の牧野家は、三河以来の徳川譜代である。その牧野家には、ひとつの家訓があった。広く知られた、「常在戦場」の言葉である。

常在戦場はつねに戦場に在るような気構えでことに臨め、という理解するむきが多いが、実際の意味はそうではない、別の解釈もあるとのこと。

たとえ戦場で華々しい手柄を挙げられずとも、意気消沈することはない。その後の政治力や策謀、すなわち知恵の使いようによって、戦場での武勲以上に実績を残すことができる。そして、それこそが真の子孫繁栄につながるという意味だ。

天下分け目の関ケ原の戦いのとき、中山道を進む徳川秀忠の軍勢は、真田の上田城で足止めを受けた。

1585年の第一次上田合戦につづく、徳川方の二度目の大敗北であった。

軍監の本田正信は、「このたびの敗戦のもとは、牧野康成の突出した行動にあり。牧野こそ、最大の戦犯なり」として、責任を牧野康成に押し付けた。

ために康成は、「不名誉」の烙印を押され、蟄居に追い込まれた。牧野家はこの不名誉のため、暇を取る家臣が続出した。

だが、康成の子・忠成は、この汚名を政治力によって返上。さまざまな裏工作や陰の奔走により、功績が認められ、長岡藩7万石の大名にまでのぼりつめた。

手柄を挙げる場所は合戦場のみにあらず人生のどこにでも存在するという「常在戦場」の言葉は、まさしく牧野家のしぶとい生き残り術をあらわすものと言える。

たとえ泥水を嘗めても、生きてさえおれば、機会は必ずめぐって来る。そう。何はともあれ、生きることだ。生きてさえおれば、必ず潮目の変わる日はめぐってくる。（真田昌幸）

子孫を増やすということは、それだけ信用できる味方を増やすことでもある。一族の固い団結のもと、過酷な戦国を生き残ってきたのが真田家にほかならない。

大坂の陣における上杉軍の水原親憲は70歳をこえる老将であったが、その采配ぶりは陣中の諸将もおもわず見惚れるほどのあざやかなものであった。

水原は、「謙信以来、弓矢のぬくもりを持った男」と家康から称賛され、感状をたまわっている。

それに対して水原は、「わしは、関東や北陸で生きるか死ぬかの合戦をいくたびも経験している。それにくらべれば、このたびのいくさなど花見に来たようなものじゃ」と磊落に笑ったという。

「表裏比興の者」と言われながら、真田氏を一地方の土豪から大名に成長させた昌幸。それとは対照的に「義の人」と言われる幸村。おのれの筋を貫いたという一点で、じつは似た者どうしの父子であるのかもしれない。

【メルマガ発行者のコメント】戦国武将の精神は、現代のわれわれも学ぶところは多い。彼らの心は、ストーリーを通して、我々日本人の心に受け継がれている。今後も、歴史モノを研究したい。

★火坂雅志『真田三代・上巻』の詳細, amazon購入はこちら↓
http://amzn.to/1ERGuIp

★火坂雅志『真田三代・下巻』の詳細, amazon購入はこちら↓
http://amzn.to/1xfYzkA

まぐまぐメルマガ
『国際インテリジェンス機密ファイル』
http://www.mag2.com/m/0000258752.html
公式ブログ
『国際インテリジェンス機密ファイル』
http://ameblo.jp/jyoho2040/
【発行】国際インテリジェンス研究所

特別寄稿

福博剣道部創立60周年に寄せて

福博村会顧問 大浦文雄

福博剣道協会（山元ケンタ会長）主催の第47回福博剣道が、6日にスザノ市のアセアス体育館で行われた。全伯各地の道場から18チーム240人が出場し、日ごろの練習の成果を競い合った。総合優勝を果たしたのは福博剣道部だった。また、同剣道部創立60周年を向かえ、創立者の一人、大浦文雄さんがその想いを寄稿した。（編集部）

福博剣道部が創立60周年を迎えて記念大会を催すことになった。

当初から関わりを持ったものとして、回顧を交えて一文を書く。

六十年前、1957年私は福博村会の学務員をしていた。日本語学校関係の仕事である。

その年、学校の新しい先生が村に入って来た。日本より直来の人で、名は谷口又男、剣道五段練士、年は33歳で、自分と同い年であった。

それまでの日本語学校の教師は、戦前の年配の人が多い中で、中年現役の人はよき相手となり交友を深めた。

そんなある日、谷口さんが真剣な顔をして学校一で剣道を始めたい、と言い出した。

それまで剣道の試合しか見ていなかった私は、防具もないのにどうやって教えるのか、と質問した。それに対して、まず基本から始める、何事も基本をしっかり習うことが大切だ、打込みの素振り、相手に向かう身体の足捌きなどの練習にも可成の時間がかかる、との返事であった。

こうして始まった剣道の生徒の中に、夜学に通っていた18歳の林義宣少年がいた。

後年、福博剣道の中核となる彼は、当時自分の体型にコンプレックスを持っていて、谷口先生のしゃきっとした姿勢に憧れて練習に励んだ。（そして教士七段まで大成した。）

練習所も校舎から会館に移り、父兄の熱心な講演を得て防具も徐々に揃い、剣道部は年々充実して行った。

その成果が大きく花開いたのは、創立より十年経った1967年の第9回全伯大会の時であった。

文字通り、一から始まった福博剣道部が、有段者団体戦で優勝を遂げたのである。

この朗報に林は湧いた。

当時、村会の会長になっていた私は、早速村民にはかり、盛大な祝賀会を催した。

学校教師を退き、村内で花作りをしながら青年の指導に当たっていた谷口さんは、会の書記をつとめていて、その時の記録を次のように記している。――期日7月23日、参加人数招待者を含めて大凡250名、シュラスコ用肉120キロ――（以下略）

その後もたゆみなく練習に励み、大会にのぞんでは個人戦、団体戦に於いて常に上位を占め、特に幼少年の部の活躍は目覚ましい。

一方、世界大会に選抜される選手は、一つのチームとしては過分の人数を出している。

その中では、特記すべきことでは、林幸男七段が世界大会での審判員として日本から選ばれていることがある。

こうして六十年を迎えた福博剣道部は現在部員選手44名、有段者は初段5名から七段（うち教士1人）3名までの21名、15歳以下の幼少年21名の陣容である。

世に創業は易く、継続は難し、という言葉がある。

願わくば世代交代をしながら、福博剣道部が、その伝統の誇りを守り、更に明日に向かって進まれんことを祈ってペンを擱く。（この一文を今は亡き友、谷口又男の霊に捧ぐ）

1967年の第9回全伯大会で有段者チームが優勝し、祝賀会を催した

総合優勝した福博チーム

真剣を使っての剣道の形の披露

第47回大会の各部門の結果

大会の結果は次の通り（敬称略、カッコ内は所属チーム）。

《個人戦男子》【幼々年】1位＝佐藤ダイキ（文協）、2位＝小早川ユキオ（福博）、3位＝林ケンジ（文協）、アラウジョ・ユウジ（福博）、林ケンジ（文協）、アリト・ガブリエル（正神館）、3位＝小西エリキ（国士館）、クリスピン・ルカス（国士館）【幼年】1位＝清田ロジキ（正神館）、2位＝ジョン・マルケス（正神館）、3位＝土田カウエ（福博）【少年】1位＝林ケンジ（福博）、松岡ダニエオ（福博）、2位＝林ユウイチ（福博）、3位＝伊藤ダイキ（福博）、高橋ビト（福博）【四段以上】1位＝高山セルソ（三重）、2位＝深水セツオ（香川）、3位＝林リュウイチ（福博）、山元ケンタ（福博）

《個人戦女子》【幼々年】1位＝中島ラリサ（国士館）、2位＝土田ラファエラ（ジャカレイ）、3位＝郡司カオリ、郡司アケミ（福博）【幼年】1位＝小早川アユミ（福博）、2位＝林ユミ（福博）、3位＝有賀エミ（文協）、万ハルカ（三重）【少年】1位＝テレス・アナ（聖武館）、2位＝レイテ・ミレネ（スザノ）、3位＝山元アキナ（福博）、アオベス・イザドラ（聖武館）【初、二段】1位＝西村マリアナ（松風館）、2位＝平川リアラ（福博）、3位＝菊地アナ（スザノ）、カマルゴ・チエ（ジャカレイ）【三段以上】1位＝木村リエ（三重）、2位＝米田ララ（文協）、3位＝ツカモト・ハルミ（文協）、戸井田リエ（聖武館）

《団体戦》【幼々年】1位＝福博、2位＝文協、3位＝国士館、ジャレス【幼年】1位＝福博、2位＝ジャレス、3位＝三重、スザノ【少年】1位＝福博、2位＝文協、3位＝三重、スザノ【初、二段】1位＝スザノ、2位＝福博、3位＝正神館、香川【三段以上】1位＝福博、2位＝三重、3位＝香川、聖武館

安全より「同盟」優先

オスプレイ飛行常態化も

【共同】米軍の新型輸送機オスプレイが18日、北海道で行われている陸上自衛隊と米海兵隊との共同訓練に参加した。オーストラリア沖で起きた死亡事故直後で地元が反発する中、日米両政府は強固な同盟関係のアピールを優先した形だ。今後、陸自が導入するほか、在日米軍基地への追加配備計画もある。安全性への懸念は拭い去れないまま、日本上空での飛行が常態化するのは確実だ。

沖縄県の米軍普天間飛行場所属のオスプレイは18日午前、駐機先の青森県・米軍三沢基地から北海道大演習場に移動。米海兵隊・第36海兵航空群長のジェームス・ハープ大佐は「オスプレイは非常に高性能な航空機だ。有事への対処能力を向上させる」と強調した。

今回の訓練に関し、北海道や関連する自治体はオスプレイの参加自粛を防衛省に要請。今月5日にオーストラリア沖で墜落し、3人が死亡する事故があったためだ。

当初予定された訓練初日の10日の参加は見送られたが、日本政府は11日、米軍に要請していた飛行自粛方針を一転させ、飛行を容認。機体に欠陥はなく、安全な飛行が可能だとした米軍の説明を「理解できる」とした。

防衛省幹部は「長期間飛行しなかったら、機体に問題があると自ら宣言するようなもの。それはできないのではないか」と米側の事情を打ち明け、別の関係者も「米軍の運用に日本政府が注文を付けるのは難しい」と語った。訓練参加でオスプレイの安全性よりも日米同盟の安定を重視し、運用の既成事実化を推し進める日米両政府の姿勢が際立つ結果となった。

陸自は17機を導入し、佐賀空港に配備することを地元に要請。米軍横田基地（東京）や岩国基地（山口）に空軍用と海軍用を置く計画もある。オスプレイの飛行は全国各地に拡大する見通しだ。

「事故原因が究明されていないのに訓練に参加するなんて、とんでもない」。定期整備拠点の陸自木更津駐屯地がある千葉県木更津市の佐藤多美男市議（68）は憤る。佐賀市の秀島敏行市長も18日の記者会見で「事故を起こしてもすぐに飛んでしまうのが日米関係の実態だ。われわれの感覚ではあり得ないが、声は届かないだろう」と述べた。

米軍の新型輸送機オスプレイ

日米共同訓練に参加

□お知らせ□

連載「南米日系社会との連携に関する有識者懇談会報告書4」は紙面の都合で休載します。

福博村会　顧問
福博剣部創立者
大浦文雄
ブラジル国サンパウロ州スザノ市
TEL:(11)4742-6274

福博剣道部 祝 創立60周年

プロポリス専門店
ムラサン健康食品
MURASAN PRODUTOS NATURAIS
プロポリス 有名ブランド各種　亀石けん　アサイーベリー　健康食品その他
Rua Galvão Bueno, 364 - box 3 - Liberdade - SP
Tel./Fax: (11) 3207-4490 - www.murasankenko.com.br
(日本への発送もしております)

病気平癒・健康祈願
南米神宮
R. Estado de Israel, 76
Vl. Clementino - S. Paulo - SP
Fone: (11) 5575-4783
www.temploxintoista.org.br

PERFUMARIA TAKEO
化粧品専門
たけお店
二九四一・九二三三

歯科医義歯スペシャリスト
ブラジル剣道連盟　理事
世界剣道大会　審判員
剣道七段 林　幸男
ブラジル国サンパウロ州スザノ市
TEL:(11) 4292-4040

南米剣道連盟　理事
福博剣道協会　師範
教士七段 林　義宣
ブラジル国サンパウロ州スザノ市
TEL:(11)4743-7953

Shiatsu 指圧・整体・針灸で
腰痛ヒザの痛み、首の痛み、坐骨神経の痛み
Prof. Minoru Kohakura
Tel: (11) 3262-0835
Av. Paulista, 509 Sala 7（メトロ・ブリガデイロ近く）

a kenko hirose
健康食品
プロポリス・アガリクス専門店
日本への発送もしております。
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
（バロン・デ・イグアッペ街とガルボン・ブエノ街の角）
Tel.: (11) 3271-5608 • Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

歯科医インプラント・スペシャリスト
福博剣道協会　総務
剣道六段 林　順二
ブラジル国サンパウロ州スザノ市
TEL:(11) 4747-2030

うずら卵販売局長
福博剣道協会　会長
剣道五段 山元ケンタ
ブラジル国ピンドラマ植民地
TEL:(11) 4721-7392

NEOVISIE Oftalmologia
中野眼科 ブラジル眼科学会認定の眼科専門医
☎ 5548-7802
白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、
レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術
CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER
日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。
Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana
METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。
中野まゆみ院長

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA
Admite-se estagiário(a)
研修生募集中（男女）
寝ちがい、首・肩・腕の痛み、腰痛、ギックリ腰、坐骨神経痛は 和楽整体 法で
WA NYU SEI TAI
SADAKAZU NAKATA PhD
CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE
TEL: (11) 5571 - 4113 / (11) 5083 - 6756
Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061 - V.Mariana - São Paulo - SP

補聴器専門店 リベルダーデ
ORIENT AUDIO APARELHOS AUDITIVOS
補聴器を使ってるけど効果が良くない? 私達が解決致します!
品質と適正な価格（山本パトリシア）
CRFa 2 - 16125
Tel.: (11) 3340-9190
Rua Galvão Bueno, 412 cj.29 Liberdade
Próximo ao Nikkey Palace Hotel

さい　かわむら

108歳、川村さたよさん

現在のコロニア最高齢か

発酵食品と腹八分が秘訣？

「現在のコロニア最高齢か」――そう噂されるのは川村さたよさん、108歳だ。1930年に宮城県から移住、現在は聖市に在住している。家族など関係者に取材し、1世紀以上に渡るさたよさんの生涯を紐解いた。2014年2月1日に亡くなった沖縄県名護市真喜屋出身の上地マツさんは、110歳で当時コロニアの最高齢だった。

108歳の川村さたよさん

さたよさんは3年前から、非日系人のルイス・カルボス・ヴァルシロウリさん（67）の家で介護を受けながら暮らしている。ルイスさんの妻で介護士のカルミンダさん（57）は「耳が遠くなって話さなくなったけど、今でも自分で食事をする。米粒一つ残さず綺麗に食べるわ」と話す。

電話取材に応じたさたよさんの次男、次男さん（80、二世）は母の経歴を訥々と話してくれた。

さたよさんは1909年5月19日、現在の宮城県塩竈市で大家族の末っ子として生まれた。実家の旅館は兄夫婦が後を継ぎ、今でも残っているという。「ぶえのすあいれす丸」に乗り込んだのは30年9月22日、21歳のとき。渡伯前に隣町出身の元次さんと結婚し、元次さんの姉夫婦と4人で渡伯した。

同年11月12日に着伯した後は、アチバイア市、タバチンガ市など聖州内を転々とし、綿作や蚕業に携わった。50年代前半からの約10年間はアララクアラ市に自分の農園を所有し、野菜などを作ったという。「当初は5年したら日本に帰るつもりだったらしい。でもやっぱり帰れなかった」と次男さんは言う。

62年、三男の稔さんが大学に進学するのに伴って、一家は聖市に移住した。その2年後に元次さんは60歳で亡くなった。

次男さんは「苦労は絶えなかった」と話す。「母はすごく働き者で、僕たちの面倒を良く見てくれた」と振りかえった。「自分は節約して、子供のために服を買っていた。兄が美容師の女性と結婚したから母はパーマをかけてもらったんだけど、それが初めておしゃれだったんじゃないかな」と懐かしんだ。

さたよさんと41年間生活を共にした三男稔さんの妻、佐智江さん（70、広島）はさたよさんについて「100歳過ぎてからも新聞を読んだり、編み物をしたり、家事も自分で出来ることは全部やっていたのよ」と話す。「きっと若い頃から外で畑仕事をして体が鍛えられていたのね。階段のある家に住んでいたけれど楽々上り下りしていたわ」と明かした。

さたよさんが好きだった食べ物を尋ねると「味噌汁、納豆、それにヤクルトをよく飲んでいた」とのこと。発酵食品に乳酸飲料とは体に良さそう。食べてもいつも腹八文目まで、水をたくさん飲むなど、健康的な生活を送っていた。

歩くのは難しくなったさたよさんだが、先月ルイスさんの一家とベルチオガ海浜に旅行に出かけるなど、まだまだ元気。記者が写真を撮る前、カルミンダさんが髪をとかすと、小さく微笑んだ。

52年の家族写真。前列左から2番目がさたよさん。長女の愛子さん（後列右）が作った洋服を着ている。

大耳 小耳

108歳、コロニア最高齢かといわれる川村さたよさん。佐智江さんは「無口な人で昔のことをほとんど話さなかった。いつもきちんとして余計なことを言わなかった」と話す。73年に佐智江さんと稔さんが結婚し、さたよさんと一緒に暮らし始めた。

「私たちに子供が出来るまでよく一緒に旅行に行ったわ。近所を出歩くのも好きでよく2人で買い物に行ったわね」と振り返った。昨年、稔さんが72歳で亡くなり、子供5人のうち3人に先立たれた。現在さたよさんには9人の孫と9人のひ孫がいる。

◎

戦時中、第3アリアンサ移住地から汽車を乗り継ぎ、丸一日がかりでサンパウロに出てきて、赤間学院で日語を学んでいたという水上さん。日語を学ぶときは、学生寮の一室に生徒が集り、皆で教科書を持って密かに勉強をしていたとか。学校内に視学官や伯人警官が入ってくるときには、非常ベルが鳴り、生徒たちはベッドの下に教科書やノートを隠し、裁縫教室へ移動して、裁縫を学んだふりをしたのだとか。同窓会では、そんな戦時下の逸話がたくさん聞けるかも。

◎

今週末、『第8回全伯俳句大会』が20日午前9時から聖市文協（Rua Sao Joaquim, 381）で行われる。受付開始は午前8時から。俳句に関心のある人はぜひ参加を。また農業博士で〝伯国の大豆の父〟として知られた故・宮坂四郎さんの『追悼式』は、午後2時から聖市の宮城県人会館（Rua Fagundes, 152, Liberdade）で行われるので、関係者の皆さんはお忘れなく。

赤間学院が最後の同窓会

「皆で最後の締め括りを」

財団法人「赤間学院」（石塚克興理事長）の旧洋裁学校、女学院時代の全校卒業生を対象に、〝最後の同窓会〟を23日正午から、聖市ヴィラ・クレメンチーノ区内の現ピオネイロ校（Av. Dr. Altino Arantes, 1098）で行う。

赤間重次・みちへ夫妻が1933年に裁縫教授所として創立。裁縫技術や日語教育を含めて拡充し、日系子女の教育に努めてきた同校。女学院時代にはおよそ5千人を社会に送り出してきた。

だが、現在では卒業生も超高齢化が進み、「これが最後の機会になる」という。来社した水上真由美さん、望月ツルエさんは、「子や孫にでも連れてきてもらい、何とか多くの人に顔を出して欲しい。赤間先生への感謝の気持ちを持って、皆で最後の締め括りをしましょう」と来場を呼びかけている。

同窓会には、同校で教師を務めていた山崎スミエさん（旧姓・西）も参加するという。参加費は、お弁当代のみ。

問合せは、水上さん（11・5523・5050）、望月さん（11・3209・4791・3209・4797）まで。

（左から）望月さん、水上さん

コロニア・ピニャールびわ祭り

全伯大会優勝の飛翔太鼓も

聖州サンミゲル・アルカンジョ市のコロニア・ピニャール文化体育協会（貴田孝平会長）が「第5回びわ祭り」を9月2、3日に同会館（Rodovia SP-250, km 162）で開催する。2日は午後6～11時、4日は午前10時～午後5時。入場無料。

びわ、デコポンやアテモイアなどの果物や、果物を使ったジャムやゼリーを販売。コロニア・ピニャール内を回るツアーもあり、各農園で果物を購入できる。他にも、手巻きや餃子などの日本食も楽しめる。

歌謡ショーやヨサコイソーランなどの出し物も予定されている。目玉となるのは先月の全伯太鼓大会で優勝した飛翔太鼓による演目だ。2日午後8時、3日午前11時に披露される。

来社した貴田会長、金兼利幸同祭実行委員長、広瀬ペドロ清さんは「びわが食べごろの季節になりました。ぜひ食べに来てください」と呼びかけた。問い合わせは同文協（メール＝colonianihal@gmail.com）まで。

貴田会長、広瀬さん、金兼同祭実行委員長

星野華怜選手が初優勝

チェス全日本女子選手権

優勝した華怜選手（前列中央）

チェス日本協会主催の「全日本女子選手権」が8月5、6日に東京都大田区民センターで開催され、聖市在住の星野華怜選手（16、ミラソウ学園チェス部）が初優勝を果たした。スイス式（トーナメント方式）6回戦（60分＋秒／手）で3勝0負3分。

同大会は、来年9月23日から10月7日にジョージアのバトゥミで開催される「第43回ワールド・チェス・オリンピアード」の日本女子代表選考（上位5人）を兼ねており、星野華怜選手が代表権を獲得しするのは今回が4回目。

「ワールド・チェス・オリンピアード」は2年に1度開催され、180前後の国と地域が参加する。オープンの部及び女子の部（2カテゴリー）の国別対抗団体戦が行なわれる。

妹の星野美怜選手（12、同チェス部卒）は暫定7位以降（2勝2負2分）だった。

ロンドリーナに領事業務出張

在クリチバ日本国総領事館は9月2日、ロンドリーナ市パラナ日伯文化連合会（Rua Paranagua, 1782）で「領事業務出張サービス」を開催する。時間は午前9時～12時と午後1時半～5時。

日本国旅券発給申請、各種証明の発給申請、戸籍・国籍に係る届出、その他領事事務に関する相談、在外選挙人登録申請を取り扱う。

なお、日本国旅券発給申請を今月25日までに、各種証明申請を30日までにすれば当日受け取れる。ただし、旅券作成機故障等などで交付できないこともあるとのこと。

中華料理
巴西李先生牛肉面
李先生手作り！とても美味しい自家製牛肉麺
家族で食べに来て下さい！
Rua Barão de Iguape, 36 - Liberdade - São Paulo
TEL: (11) 3207-5865

ALUGA-SE
SALA COMERCIAL
貸事務所
Edificio Cond. Diário Nippak
sala 71（日伯ビル7階）
Contato（問い合わせ連絡先）
MARIA: (11) 3209-4640

JAPÃO TRADICIONAL 2017
Última saída!
"Pacote de 17 dias"
VIA DUBAI
◆28 de OUTUBRO
ROTEIRO: Dubai, Tokyo, Kanazawa, Shirakawago, Takayama, Nagoya, Kyoto, Nara, Hiroshima, Miyajima, Himeji, Osaka, Hakone, Monte Fuji e Tokyo.
ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br
☎(11) 2187-8989(SP)
sao@alfainter.com.br
☎(03)5473-0541(TOKYO)
info@alfainter.co.jp
Pacote Aéreo
ENDEREÇO: Rua AMÉRICO DE CAMPOS, 47A - LIBERDADE - CEP.01506-010 - SÃO PAULO -SP

サンパウロ日伯援護協会
リベルダーデ医療センター
ENKYO
日本語で対応します
受付時間
月～金　07:00～18:30
土　07:00～12:30
人間ドック受付　月～金　07:00～16:00
人間ドック、診察と検査（内科及び各種専門科）、歯科
各種健康保険取り扱っています
（日本の保険各種）
日本語の診断書を発行します
お問合せ: (11) 3274-6555
ご予約（内科以外の各専門科）: (11) 3274-6508
人間ドック: (11) 3274-6495
歯科: (11) 3274-6501
Adesão de novos associados
新会員募集: (11) 3274-6523
Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP
www.enkyo.org.br

サンパウロ日伯援護協会
日伯友好病院
ENKYO
最新設備と専門スタッフを備えた
日伯友好病院は真心込めた医療を
あなたへお届けします
24時間受付
・内科・外科・小児科・整形外科
心臓外科　他
日本語で対応します
各種健康保険取り扱っています
（日本の保険各種）
日伯友好病院行きバスのご案内
地下鉄Tatuapé駅発 172X-10
地下鉄Santana駅発 271M-10
Dom Pedro II公園発 272N-10
HOSPITAL NIPO-BRASILEIRO
Tel.: (11) 2633-2200
Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo
www.hospitalnipo.org.br

IKESAKI COSMÉTICOS
池崎商会
Variedade em Cosméticos e Perfumaria
Rua Galvão Bueno, 37 Liberdade
São Paulo - SP TEL: (11) 3346-6944
www.ikesaki.com.br

VENDA em BANCA

Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

ANO XX – Nº 4821 SÃO PAULO, SÁBADO, 19 DE AGOSTO DE 2017 R$ 4,00

AVENIDA PAULISTA, PARQUE IBIRAPUERA, SHOPPINGS E METRÔ
O Matsubara Hotel
coloca o melhor de
São Paulo à sua volta
Rua Coronel Oscar Porto, 836 - Paraíso - São Paulo
Reservas:
11 3561.5000
0800 771 7101
matsubarahotel.com.br
matsubara

Fim da Guerra (15/08/2017)

Japão lembra 72 anos do fim da Segunda Guerra Mundial

Os japoneses lembraram os 72 anos do fim da Segunda Guerra Mundial. No Japão, o dia 15 de agosto marca o fim do conflito.

Na terça-feira, o governo japonês realizou uma cerimônia em Tóquio em homenagem às cerca de 3,1 milhões de pessoas que morreram na guerra. Aproximadamente 6.400 pessoas, incluindo membros das famílias dos mortos, participaram do evento.

Em sua fala, o primeiro-ministro Shinzo Abe disse que a devastação da guerra nunca deveria se repetir. Ele ressaltou as contribuições do Japão para a paz e a prosperidade global nas décadas que se seguiram ao conflito. E acrescentou que o país continuará a manter uma política que apoia a paz e se opõe à guerra, enquanto encara a história com humildade.

Ao meio-dia, participantes fizeram um minuto de silêncio.

O Imperador Akihito falou sobre um profundo sentimento de remorso em relação à guerra e manifestou sua esperança de que ela nunca mais aconteça. Ele disse que se juntou ao povo japonês ao prestar condolências àqueles que morreram no conflito, e rezou por um mundo de paz e pelo progresso futuro do país.

Mais de três quartos dos parentes dos falecidos que participaram da cerimônia tinham 70 anos ou mais. A mais velha era Harumi Serigano, de 101 anos, cujo marido morreu em combate no ano de 1945, na província de Okinawa.

NHK WORLD
RADIO JAPAN
Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese
Aplicativos gratuitos da NHK WORLD
TV em inglês em 24 horas
NHK WORLD TV Live
*Para Android, iOS e Kindle Fire

Comentário (14/08/2017)

Diplomacia do Japão: futuro das relações nipo-americanas

A diplomacia do Japão tem destaque nas edições do Comentário desta semana. Hoje, Ken Jimbo, professor associado da Faculdade de Gestão Política da Universidade Keio, fala sobre perspectivas futuras dos laços entre o Japão e os Estados Unidos.

"O presidente americano, Donald Trump, não é um representante tradicional do Partido Republicano e, assim, desde a sua posse, as relações nipo-americanas se estabeleceram com escassas informações sobre os tipos de medidas que seriam tomadas. O primeiro-ministro japonês, Shinzo Abe, encontrou-se com Trump logo após a sua eleição e, depois, seguindo-se à posse, para estabelecer um relacionamento pessoal de confiança mútua. O resultado foi que Washington deu ênfase à aliança com Tóquio e concordou em tratar da emergência da China e de questões relacionadas com a Coreia do Norte. Foi um grande alívio para o Japão.

Enquanto isso, teve continuidade a confusão em torno da governança da administração americana. Ainda estão para tomar posse os vice-secretários de Estado e da Defesa, que se encarregam da região da Ásia—Pacífico. Ou seja, na verdade, não está constituída nenhuma diplomacia dotada de habilidade e solidez.

Por exemplo, há diferentes estratégias sobre o desenvolvimento de mísseis pela Coreia do Norte. Algumas autoridades buscam uma atitude de linha dura e a aplicação de novas sanções econômicas pela China; outras procuram o diálogo.

Quanto à China, em etapa anterior, o presidente americano parecia determinado a tomar uma atitude severa e designar o país como um manipulador do câmbio. Depois de uma reunião de cúpula em abril, porém, Trump manifestou esperança de que a China tome a iniciativa de tratar dos problemas da Coreia do Norte. Mostrou-se disposto a levar em consideração a expansão militar chinesa no Mar da China Meridional.

Portanto, nos últimos seis meses do governo Trump, o Japão tem sido capaz de confirmar a solidez da sua aliança, mas também tem se preocupado com a posição dos Estados Unidos em relação à Coreia do Norte e à China.

No resto de 2017, a administração Trump provavelmente continuará a ser afetada por questões de governança. Com eleições de metade do mandato do presidente a ocorrer daqui a 12 meses, é provável que a sua política de relações exteriores dê prioridade aos interesses da população de trabalhadores brancos — os maiores apoiadores de Trump. A posição de Washington será diferente da assumida por governos americanos passados, que tomaram para si a liderança em governança global.

Vários encontros internacionais — inclusive a reunião de cúpula da Apec, em novembro — estão programados para discussão de questões políticas, de segurança e de economia na região Ásia—Pacífico. Como se pode concluir pela posição de Trump em relação à Otan, o presidente não parece ser muito adepto da diplomacia multilateral. Será, assim, importante que, em tratativas diplomáticas com outros países, o Japão se certifique de que estejam cientes da grande importância do papel exercido pelos Estados Unidos para a estabilidade na região Ásia—Pacífico.

Além disso, Tóquio terá de comunicar a Washington o modo como a ordem deve ser mantida na região — algo que será crucial nas relações bilaterais."

Comentário (15/08/2017)

Diplomacia do Japão: o futuro das relações nipo-chinesas

Os Comentários desta semana têm como tema a diplomacia do Japão. Hoje, Masaharu Hishida, professor da Universidade Hosei, fala sobre as perspectivas dos laços entre o Japão e a China.

Hishida diz: "Acredito que, sob um ponto de vista de longo prazo, este é o melhor momento para melhorar as relações entre os dois países. Na diplomacia, aniversários históricos são importantes. Este ano marca o quadragésimo quinto aniversário da normalização dos laços diplomáticos entre Japão e China em 1972, e no ano que vem é a vez do quadragésimo aniversário do Tratado de Paz e Amizade entre Japão e China, assinado em 1978. Neste cenário, chanceleres do Japão e da China se reuniram em Nova York em abril deste ano. Os líderes dos dois países também se encontraram paralelamente à reunião de cúpula do G20 realizada em julho em Hamburgo, na Alemanha.

Mas o problema é que a incerteza aumentou sobre essas tentativas de melhorar relações bilaterais. Desnecessário dizer que isso tem a ver com as questões relacionadas à Coreia do Norte. Tanto Tóquio quanto Pequim sentem uma atmosfera de crise em Pyongyang, e o presidente dos Estados Unidos, Donald Trump, demonstrou uma abordagem de cooperação com a China depois do encontro com o presidente Xi Jinping, realizado em abril. Isso mostra uma mudança na atitude que Trump havia indicado durante sua campanha eleitoral.

Essa mudança na política deve ter gerado preocupações no Japão de que, a menos que o país reestabelecesse os laços com a China, Washington e Pequim poderiam começar a lidar com a questão de Pyongyang sem Tóquio. Acho que é por isso que, desde maio, aproximadamente, a diplomacia aumentou entre legisladores japoneses e chineses. Acredito que o lado japonês tivesse uma estratégia para melhorar os laços com a China através das preocupações de ambos os países sobre a Coreia do Norte.

Contudo, Trump disse, no Twitter, que "está muito decepcionado com a China". Esse tuite assinalou uma mudança em relação à sua abordagem cooperativa. Washington também anunciou sanções contra duas entidades chinesas: um banco e uma trading. Tóquio também aumentou suas sanções contra a Coreia do Norte, dando a impressão de que o Japão e os Estados Unidos teriam aumentado, conjuntamente, sua pressão sobre a China para aumentar suas sanções contra a Coreia do Norte. Como era de se esperar, a China tem reagido com firmeza.

Acho que a China ainda vai criar uma política clara sobre o Japão já que vai realizar o Congresso do Partido Comunista, ainda este ano. Se a autoridade do presidente Xi Jinping aumentar ele terá mais latitude nas questões relacionadas ao Japão, o que significa que ele poderá diminuir a frequência de suas posturas linha-dura em relação ao Japão para obter o apoio popular. Acho que Xi Jimping está sentindo a pressão por causa do bom relacionamento entre Trump e o primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe. Para a China, melhorar o relacionamento com o Japão tem como objetivo parcial evitar que a aliança entre o Japão e os Estados Unidos tenha a China como alvo. Os laços nipo-chineses mostram sinais de melhora desde o segundo trimestre deste ano, mas eles não devem melhorar por enquanto."

ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛
ブラジル版いよいよ販売開始!
日ポ生活会話ガイド
o Jeitinho no Japão para os brasileiros
ブラジル人のための ニッポンの裏技
Guia Prático para viver no Japão
暮らしに役立つ日本語便利帳
▶日本語とポルトガル語の勉強にすごく便利
▶面白くて分かりやすい
▶画像付き日常生活の会話
▶カテゴリー別、辞書付き
▶日本の生活ガイドにも
前版大好評 全巻売り切れ!!
ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで
郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで
●ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399
特別価格 R$50

amazon.com.br
Jornal Nikkey Shimbun
Classificação das avaliações
Informações sobre o vendedor
Vitrine de Jornal Nikkey Shimbun
Confira mais produtos de Jornal Nikkey Shimbur
Aliança -A Terra da Cooperação- R$ 40,00
O Jeitinho No Japão P Os Brasileiros R$ 50,00
JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
Quer conhecer a história, a cultura e o povo japonês ?
Acesse nossa página no Amazon Market Place atravéz do QR code. Ou busque : http://ur0.work/Eym0.